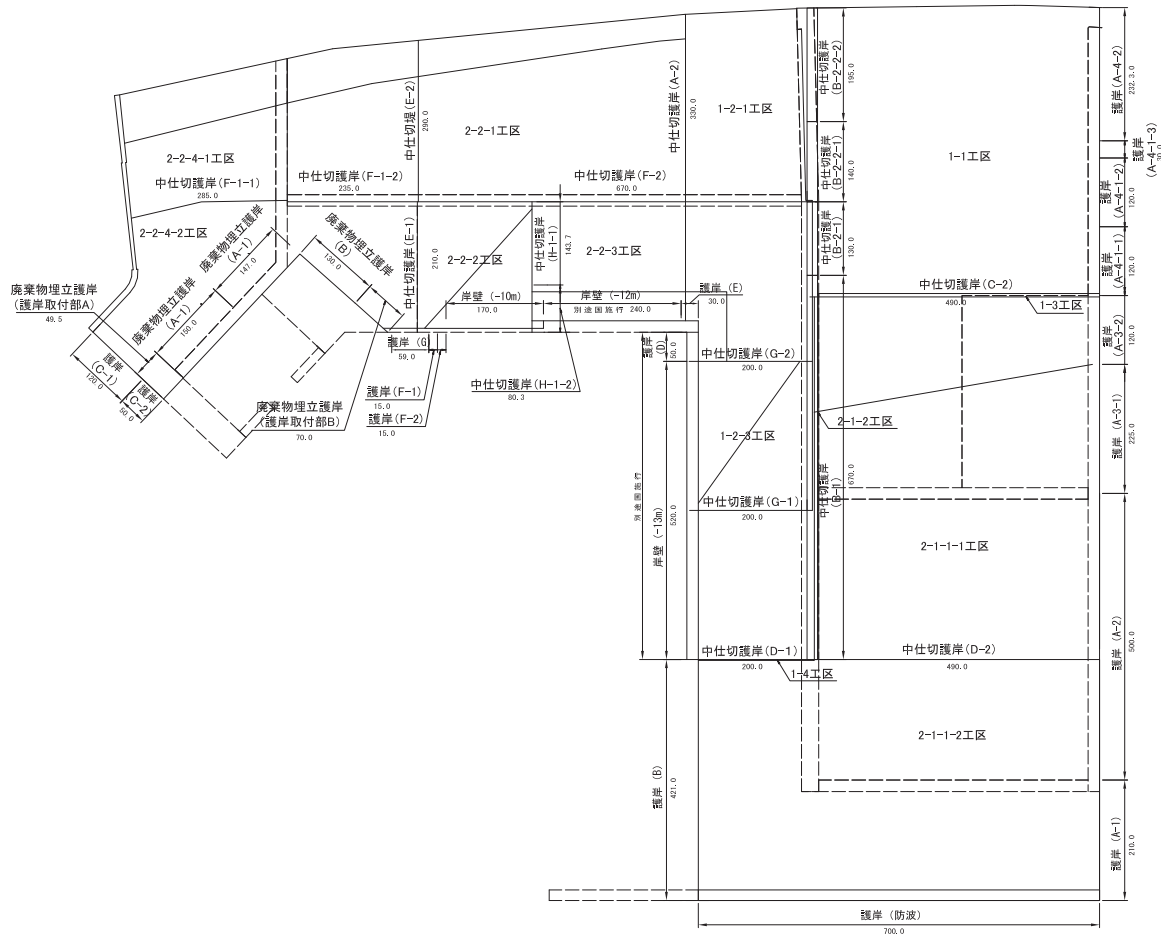


中島1,000トン岸壁 断面図(2)



各施設の概要(雲雀野地区)

雲雀野埋立地を構成している工作物の位置、名称、種類及び構造については、以下に示すとおりである。



雲雀野造成地の外周工作物位置図

雲雀野地区各施設の概要

名 称	種 類	構 造
岸壁 (-10m)	岸壁	スリットケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) スリットケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.40 m エプロン幅 20.0 m
護岸 (防波)	護岸	ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石、根固めブロック、被覆ブロック (本体工) ケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+4.80 m
護岸 (A-1) 〃 (A-2)	護岸	ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石、被覆石 (本体工) ケーソン (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+5.00 m
護岸 (A-3-1) 〃 (A-3-2) 〃 (A-4-1-1) 〃 (A-4-1-2)	護岸	鋼製ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石、被覆石 (本体工) 鋼製ケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+5.00 m
護岸 (A-4-1-3)	護岸	捨石式 (基礎工) 捨石 (本体工) 場所打ちコンクリート (消波工) 消波ブロック 天端高 D.L.+5.00 m
護岸 (A-4-2)	護岸	捨石式 (基礎工) 捨石 (本体工) 場所打ちコンクリート (消波工) 消波ブロック 天端高 D.L.+5.00 m
護岸 (B)	護岸	ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) ケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.20 m ~ D.L.+3.60 m
護岸 (C-2)	護岸	ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石、根固めブロック、被覆ブロック (本体工) ケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.00 m
護岸 (F-1)	護岸	直立消波ブロック式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 直立消波ブロック、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.40 m

名 称	種 類	構 造
護岸 (F-2)	護岸	スリットケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) スリットケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.40 m
護岸 (G)	護岸	直立消波ブロック式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 直立消波ブロック、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.40 m
廃棄物埋立護岸 (A-1,A-2,B)	廃棄物 埋立護岸	捨石式 (本体工) 捨石 天端高 D.L.+3.75 m ~ +4.20 m
廃棄物埋立護岸 (護岸取付部 A)	廃棄物 埋立護岸	ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石、根固めブロック、被覆ブロック (本体工) ケーソン、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.00 m
廃棄物埋立護岸 (護岸取付部 B)	廃棄物 埋立護岸	方塊ブロック式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 方塊ブロック、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (A-2)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (B-1) (B-2-1)	護岸	鋼製ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 鋼製ケーソン、裏込石 (上部工) コンクリート 天端高 D.L.+2.00 m
中仕切護岸 (B-2-2-1) (B-2-2-2)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 天端高 D.L.+5.00 m
中仕切護岸 (C-2)	護岸	鋼管矢板式 (基礎工) 基礎捨石 (本体工) 鋼管矢板 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (D-1)	護岸	鋼製ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 鋼製ケーソン、裏込石 (上部工) コンクリート 天端高 D.L.+3.60 m ~ D.L.+5.00 m
中仕切護岸 (D-2)	護岸	鋼製ケーソン式 (基礎工) サンドコンパクション、基礎捨石 (本体工) 鋼製ケーソン、裏込石 (上部工) コンクリート 天端高 D.L.+3.60 m ~ D.L.+5.00 m

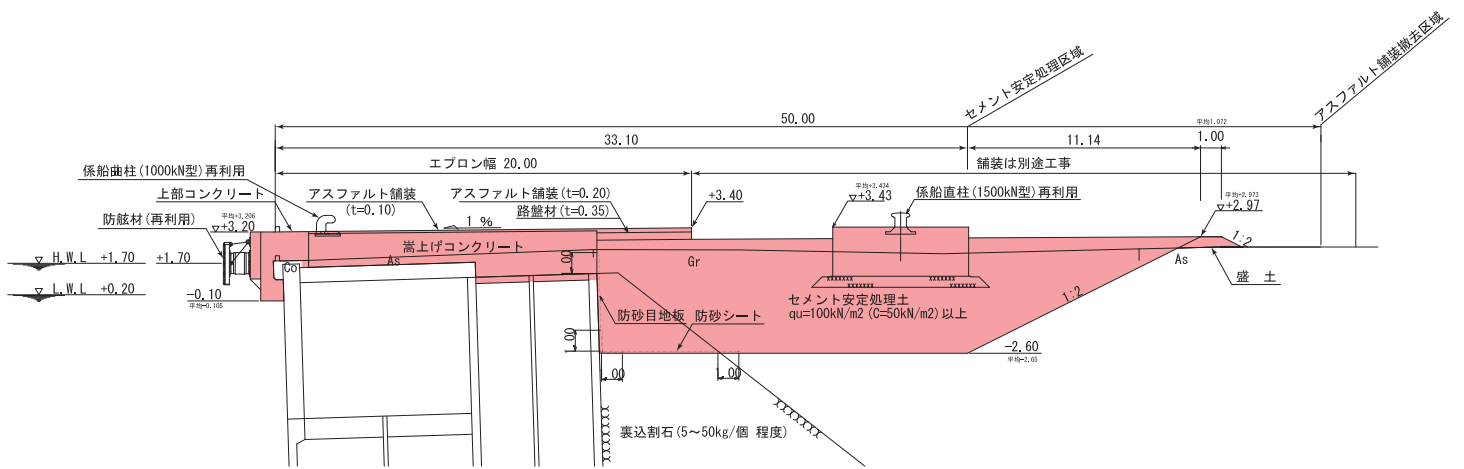
名 称	種 類	構 造
中仕切護岸 (E-1)	護岸	捨石式 (基礎工) 碎石ドレーン、盛土 (本体工) 捨石、被覆石 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (F-1-1)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 (消波工) 消波ブロック 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (F-1-2)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 (消波工) 消波ブロック 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (F-2)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 (消波工) 消波ブロック 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (G-1)	護岸	捨石式 (本体工) 捨石 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (G-2)	護岸	捨石式 (本体工) 盛土、雑石 天端高 D.L.+2.00 m
中仕切護岸 (H-1-1)	護岸	捨石式 (本体工) 盛土、雑石、捨石 天端高 D.L.+3.00 m
中仕切護岸 (H-1-2)	護岸	方塊ブロック式 (基礎工) 割栗石、捨石 (本体工) 方塊ブロック、裏込石 (上部工) 場所打ちコンクリート 天端高 D.L.+3.51 m～ +3.97 m

以下は施工期間、初期整備事業費、構造形式、施設緒元について港湾施設台帳から記載したものである。また、掲載している断面図は東日本大震災後の災害復旧工事図面を元に作成しており、赤着色部分は東日本大震災による災害復旧工事が行われた箇所である。

◆ 係留施設

○ 雲雀野中央埠頭 1号岸壁

施工期間	平成3年～平成10年	水深	-13m	バース数	1
初期事業費	119億3,678万円	延長	260m	対象船型	40,000DWT
構造形式	スリットケソン式(B 15.0m × H 15.6m × L 15.0m)				

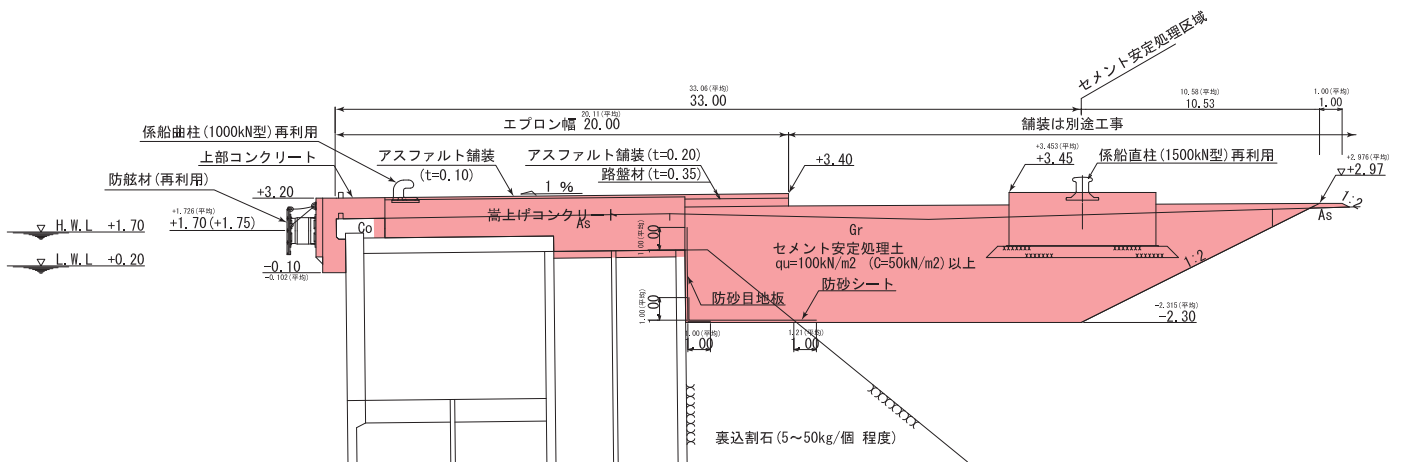


雲雀野中央埠頭 1号岸壁 断面図



○雲雀野中央埠頭2号岸壁

施工期間	平成6年～平成16年	水深	-13m	バース数	1
初期事業費	75億4,842万円	延長	260m	対象船型	40,000DWT
構造形式	スリットケーン式(B 15.0m × H 15.6m × L 15.0m)				

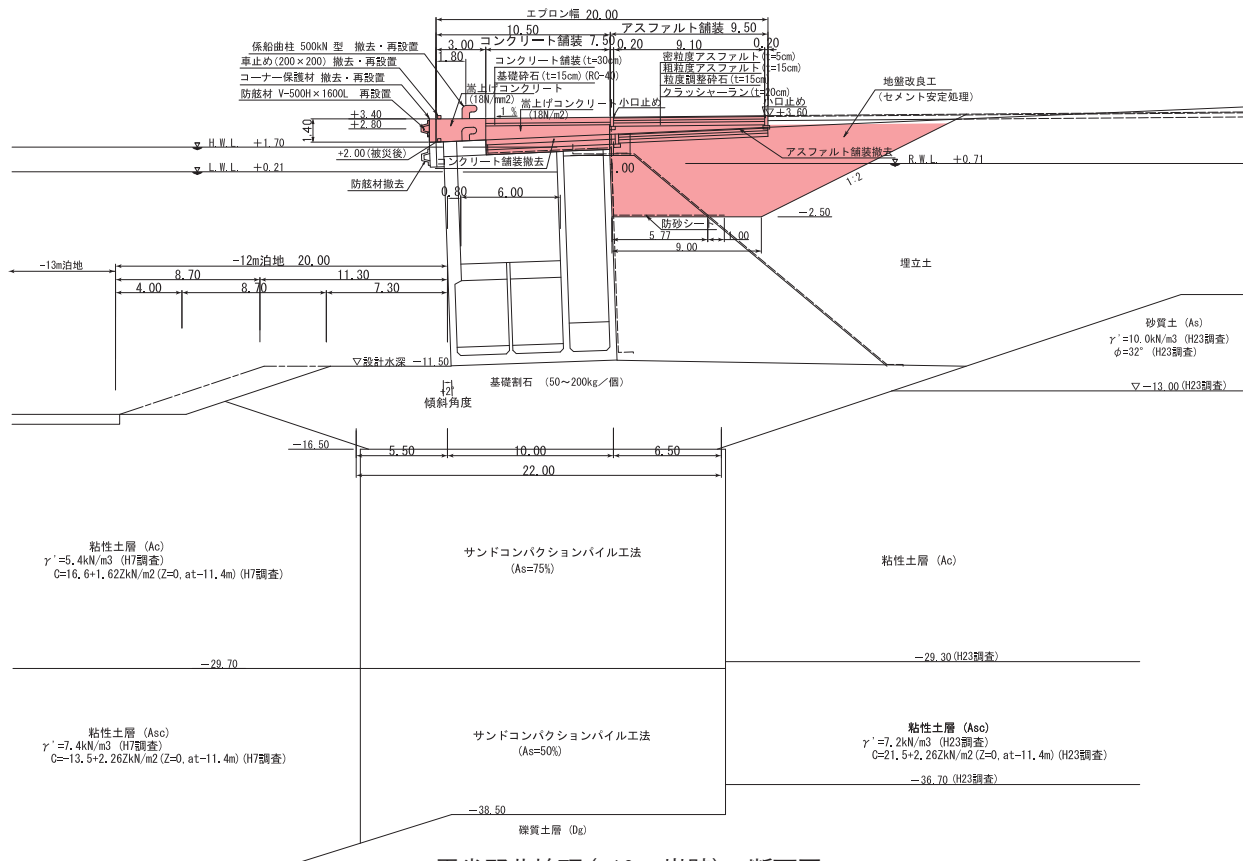


雲雀野中央埠頭2号岸壁 断面図 (平成24年4月時点)



○雲雀野北埠頭岸壁

施工期間	平成7年～平成17年	水深	-10m	バース数	1
初期事業費	41億2,000万円	延長	170m	対象船型	12,000DWT
構造形式	スリットケーソン式(B 10.0m × H 13.5m × L 18.4m)				



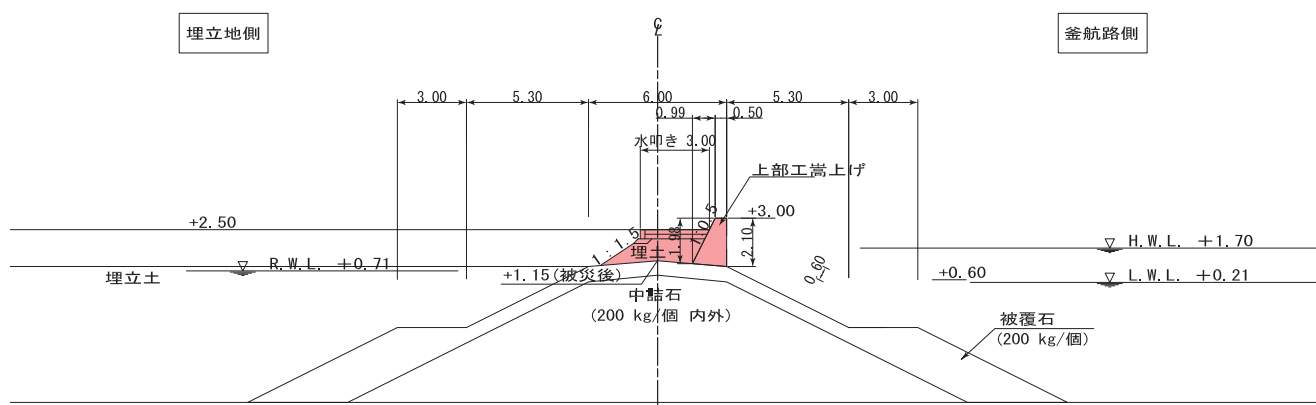
雲雀野北埠頭 (-10m岸壁) 断面図



◆ 外郭施設

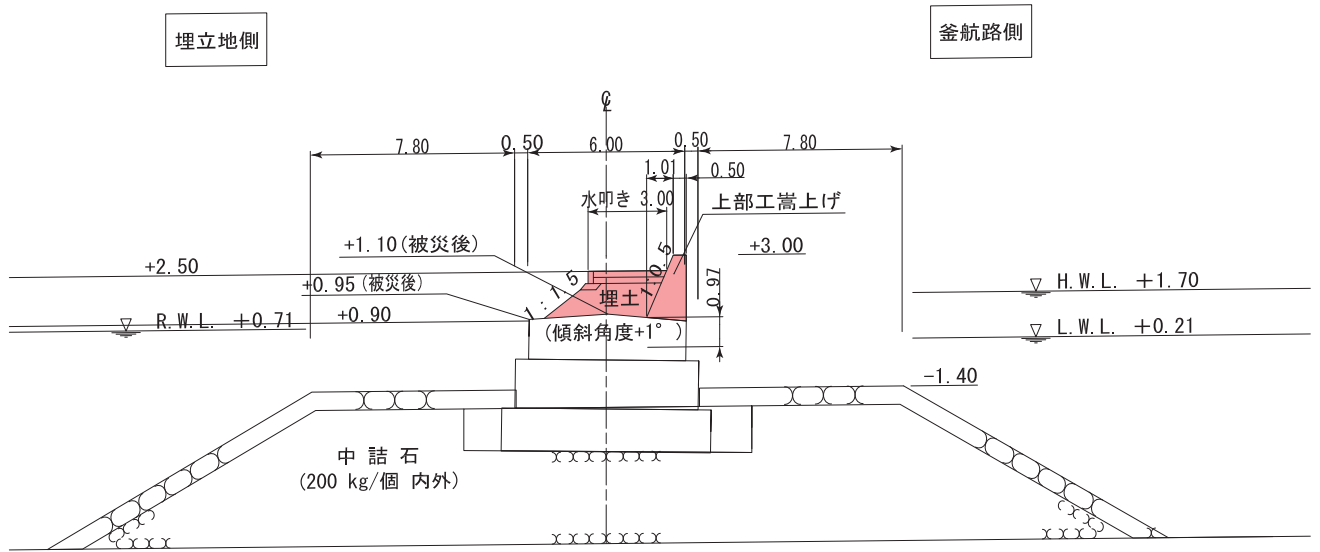
○ 雲雀野防波堤

施工期間	昭和35年～昭和53年		
初期事業費	45億 7,549万円	延長	1,800m
構造形式	捨石傾斜堤、方塊式混成堤、消波ブロック被覆堤		

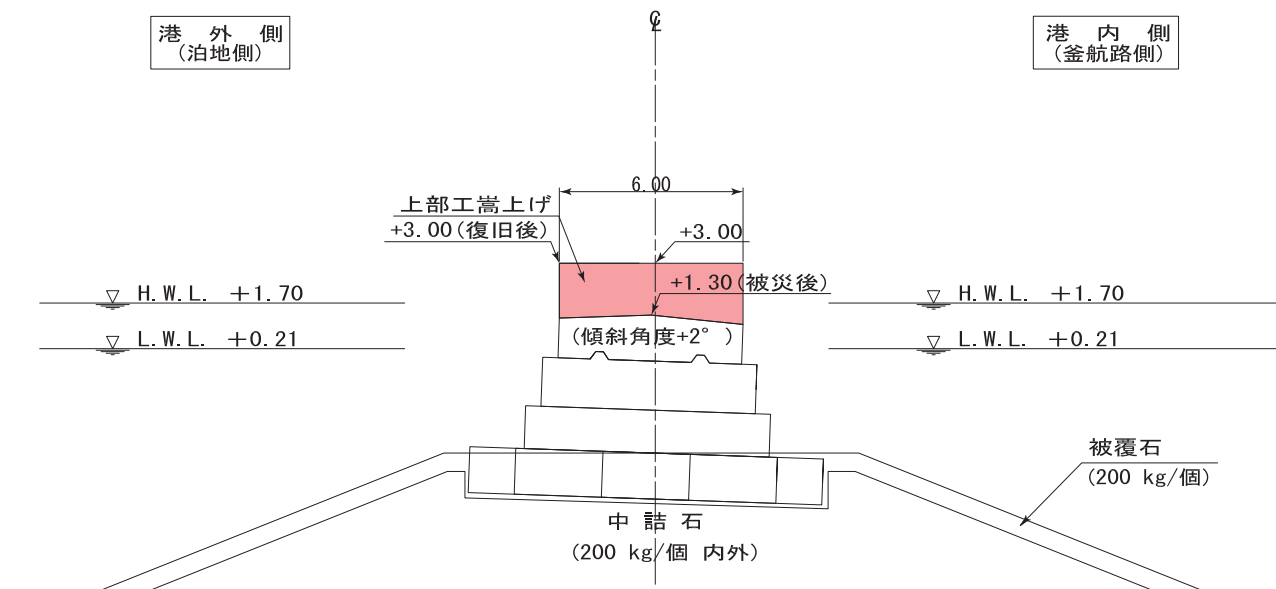


雲雀野防波堤 (防波堤捨石堤 A部) 断面図

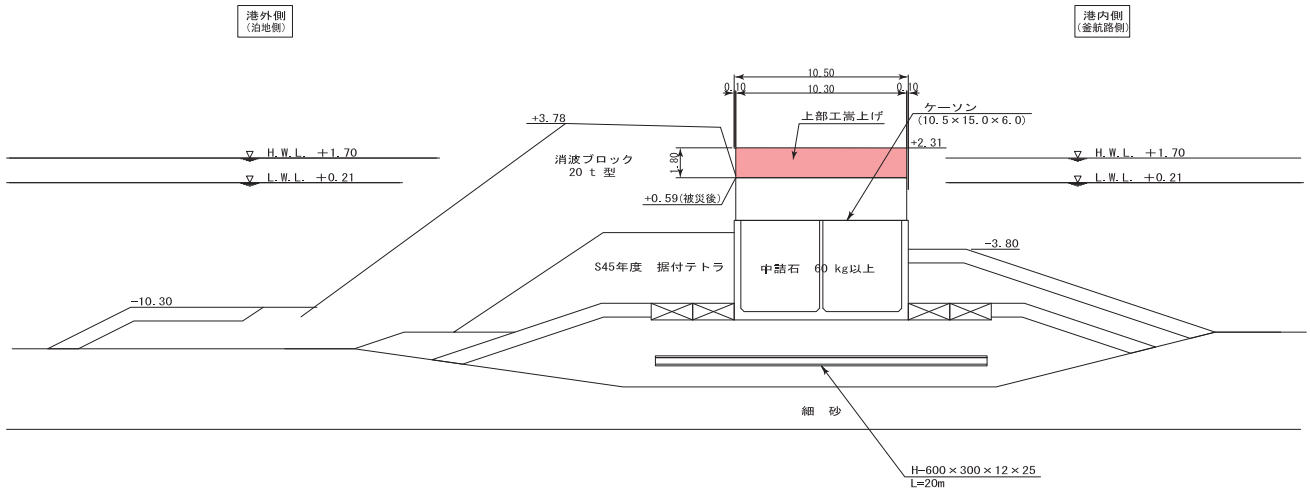




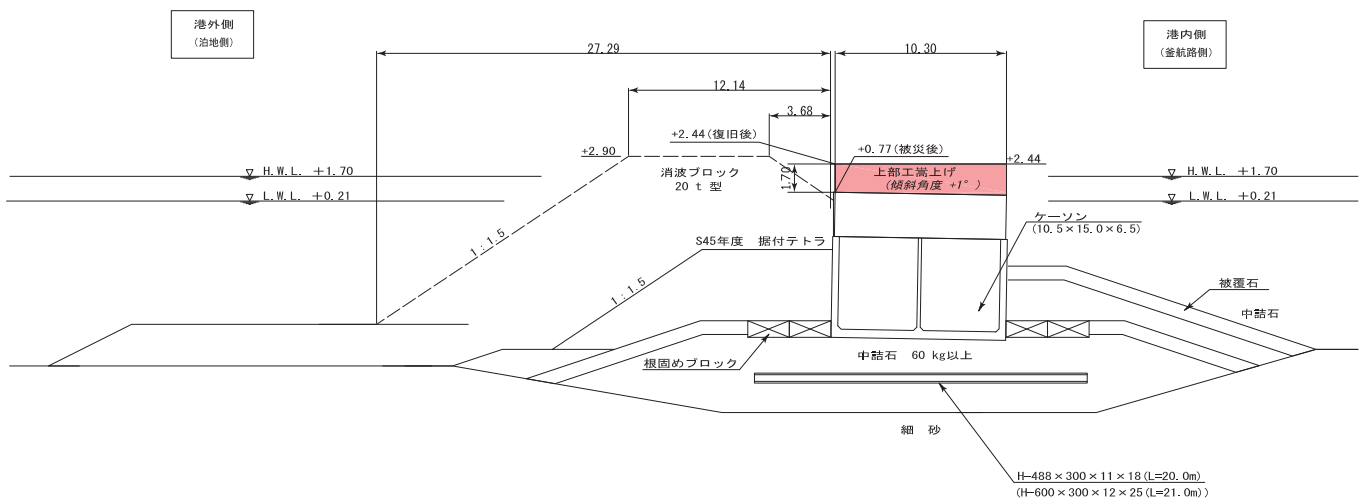
雲雀野防波堤 (防波堤混成堤 B部) 断面図



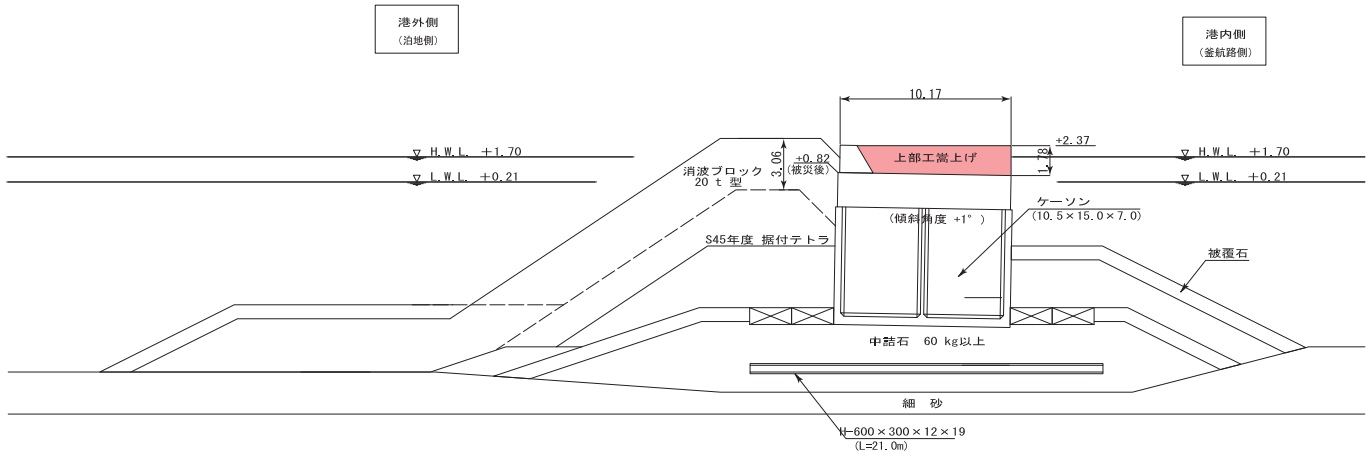
雲雀野防波堤 (防波堤混成堤 C部) 断面図



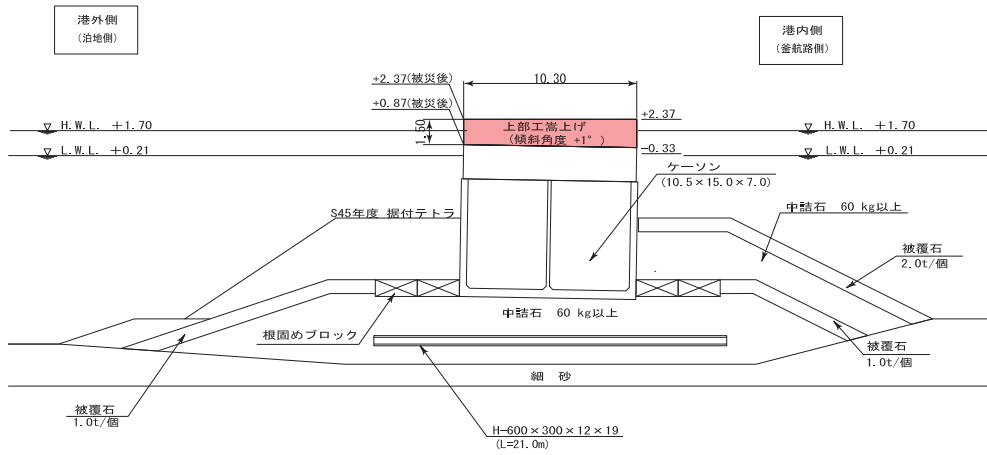
雲雀野防波堤 (6.0mケーソン部) 断面図



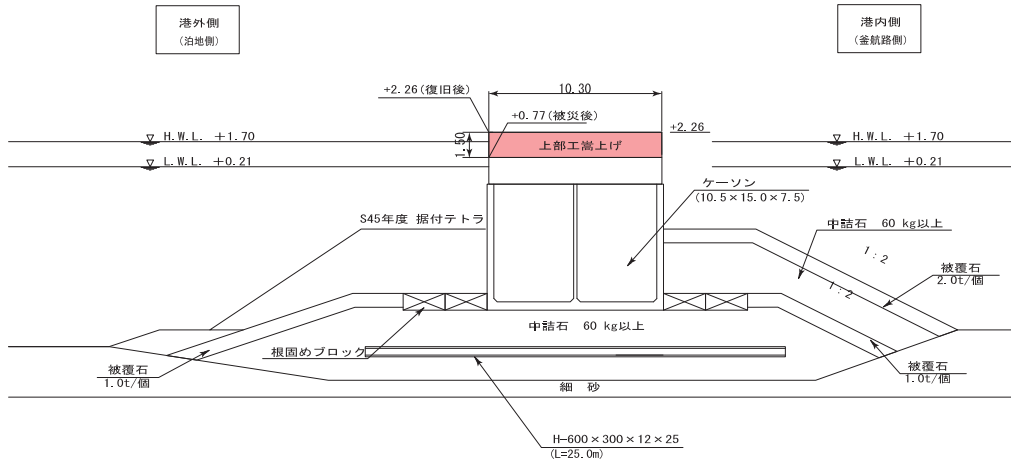
雲雀野防波堤 (6.5mケーソン部) 断面図



雲雀野防波堤 (7.0mケーソン部消波ブロック有) 断面図



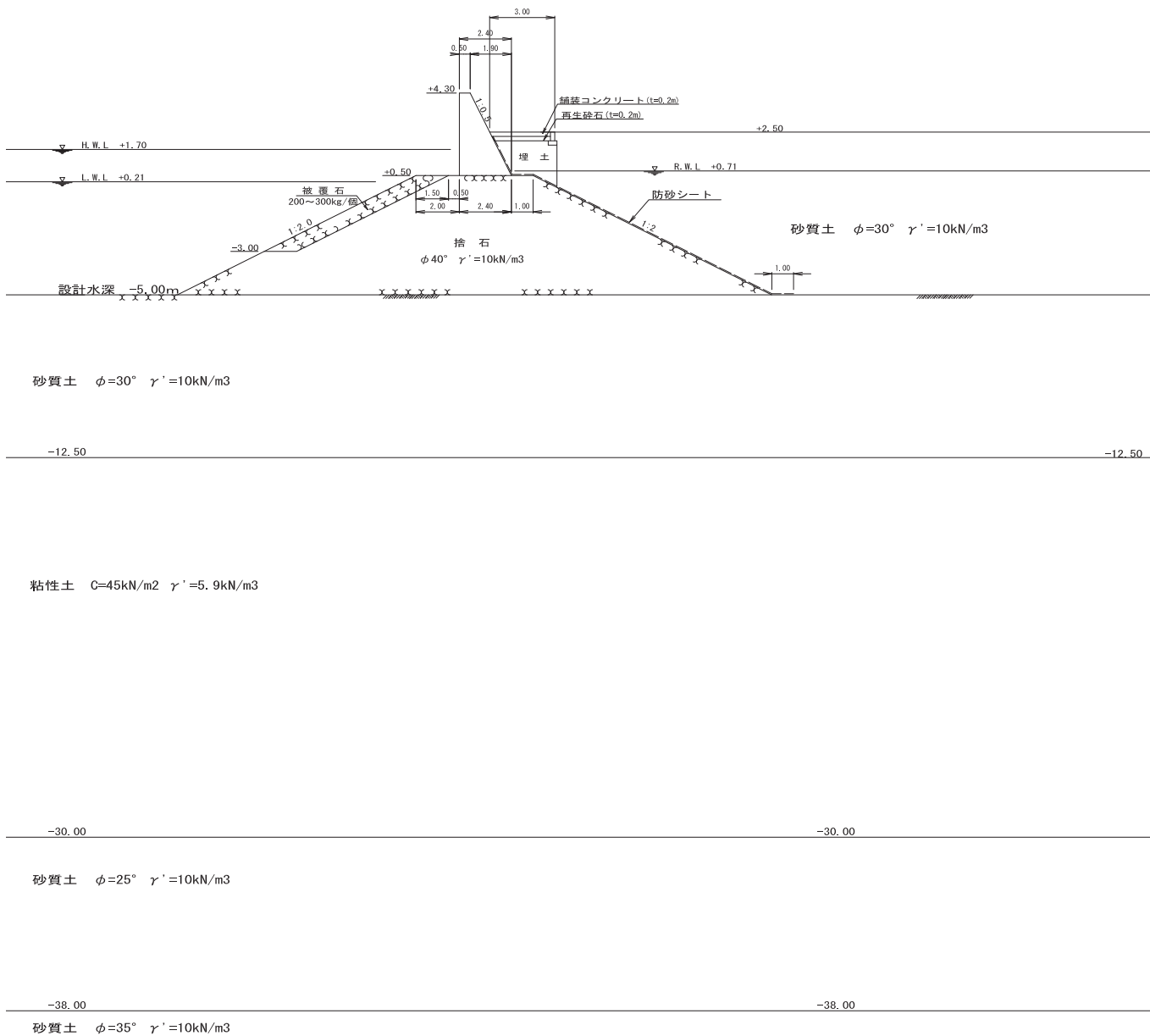
雲雀野防波堤 (7.0mケーソン部消波ブロック無) 断面図



雲雀野防波堤 (7.5 mケーソン部) 断面図

○東突堤

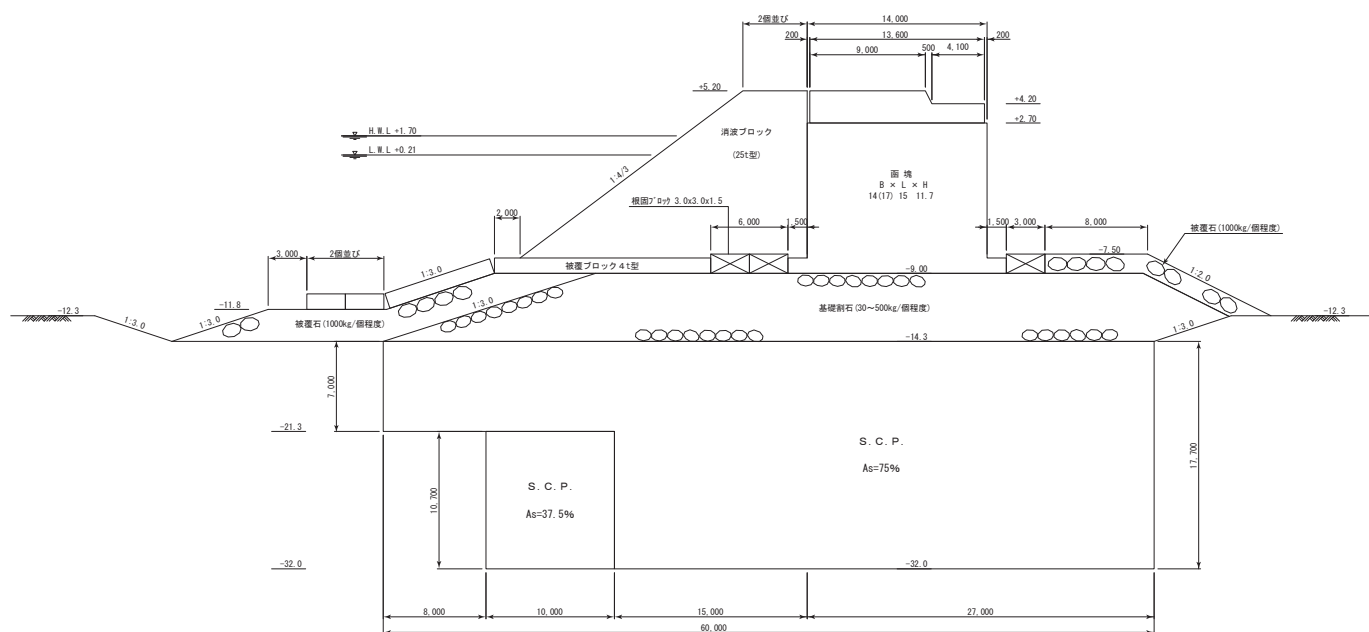
施工期間	昭和40年	延長	99m
構造形式	捨石傾斜堤		



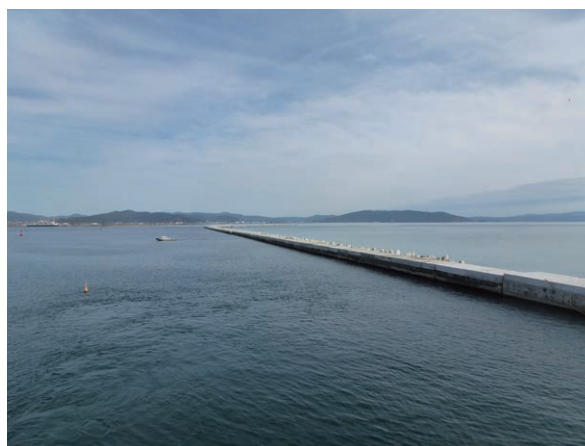
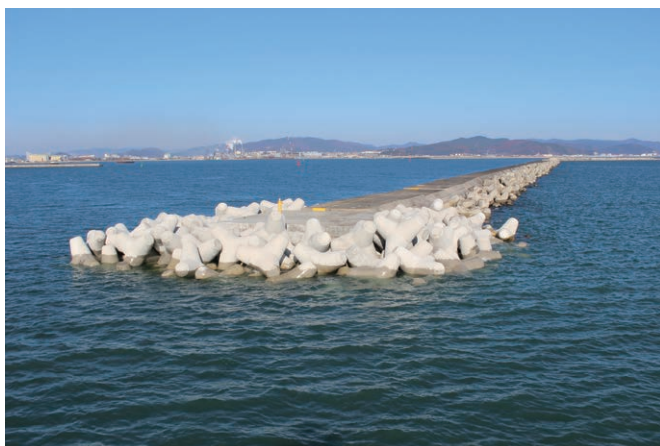
東突堤 断面図 (平成23年 4月 28日)

○南防波堤

施工期間	昭和59年～整備中	延長	1,840m 2,530m(計画)
構造形式	消波ブロック被覆堤		

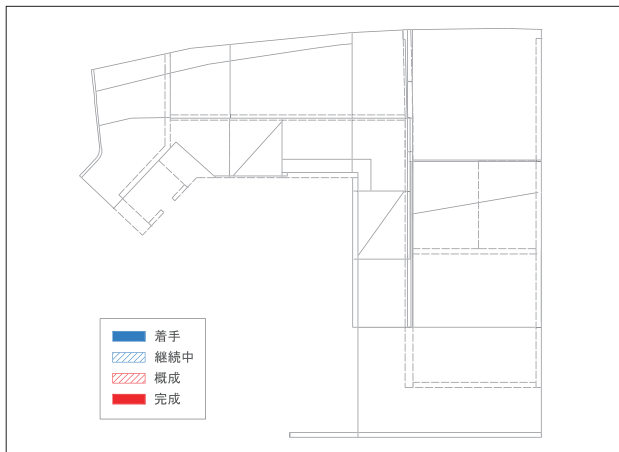


南防波堤 断面図 (平成26年3月)

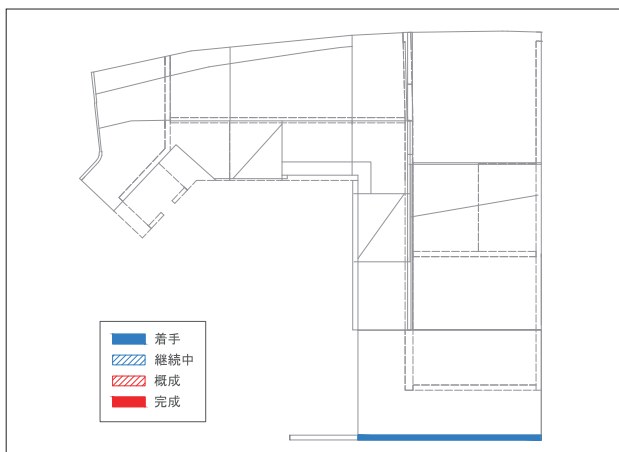


雲雀野地区造成工事の変遷

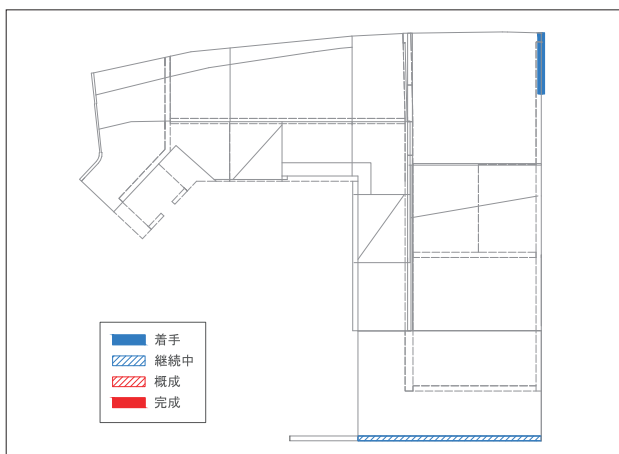
埋立事業の施行状況及び航空写真は次のとおりである。平成9（1997）年に外周の防波護岸が概ね整備された後、浚渫土砂等を活用し沖合に展開している。



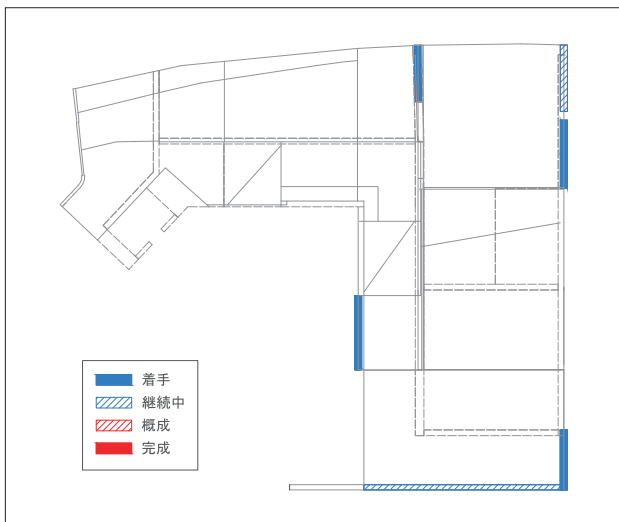
平成3（1991）年の施工位置図と航空写真



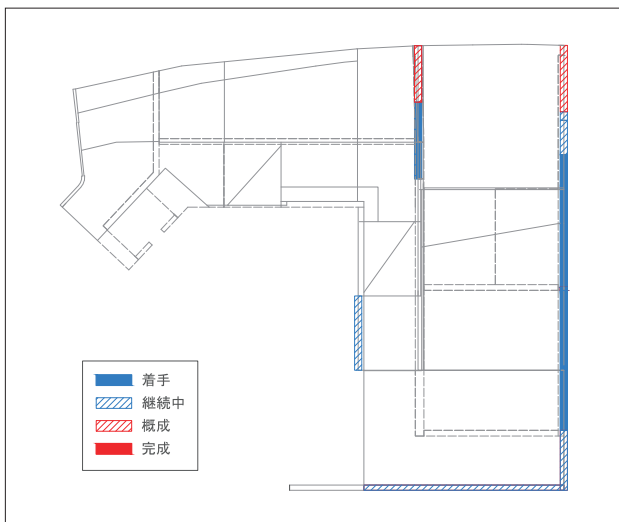
平成4（1992）年の施工位置図と航空写真



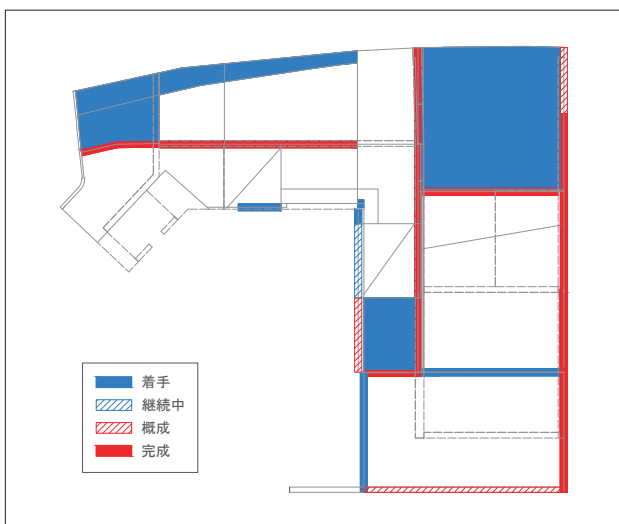
平成5（1993）年の施工位置図と航空写真



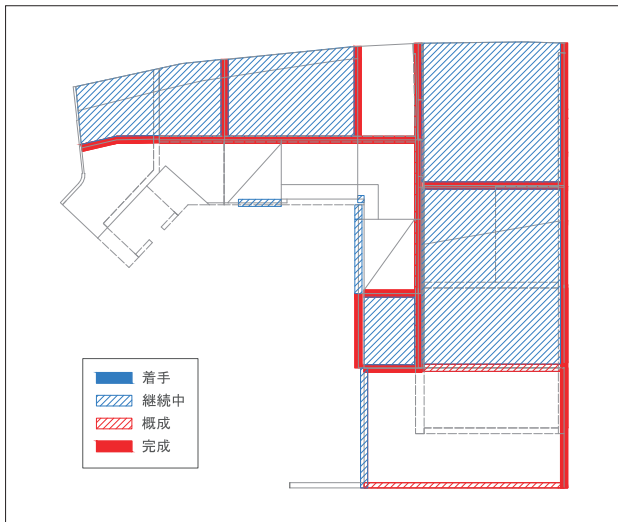
平成 6 (1994) 年の施工位置図と航空写真



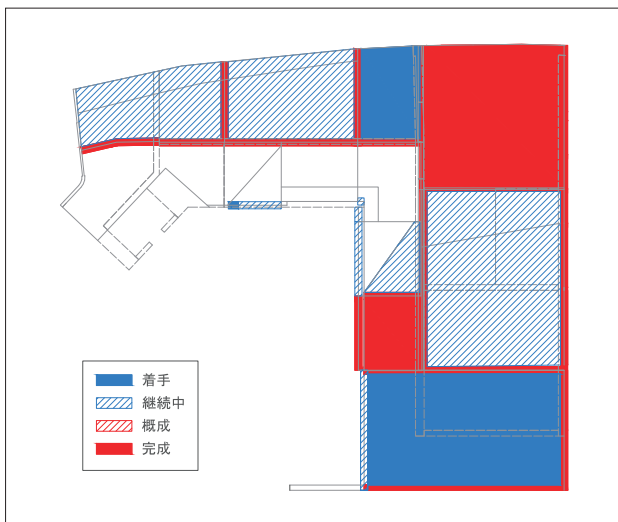
平成 7 (1995) 年の施工位置図と航空写真



平成 8 (1996) 年の施工位置図と航空写真

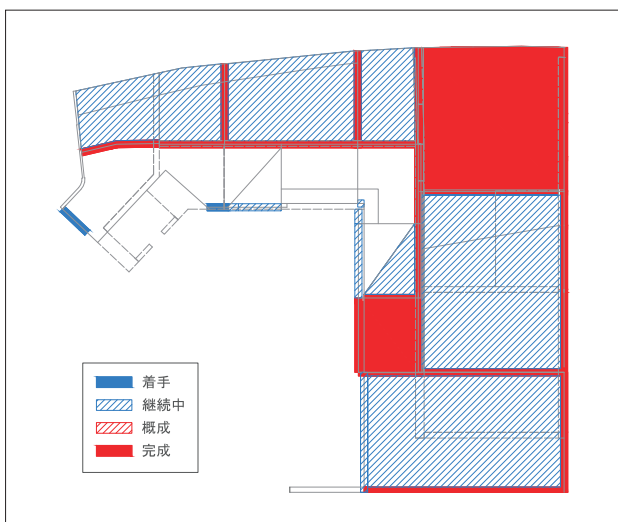


平成 9 (1997) 年の施工位置図と航空写真

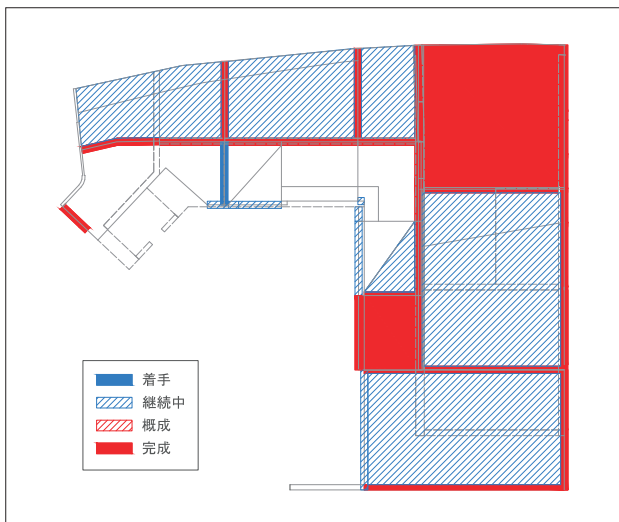


国土地理院空中写真(H10.11.13撮影)をもとに作成

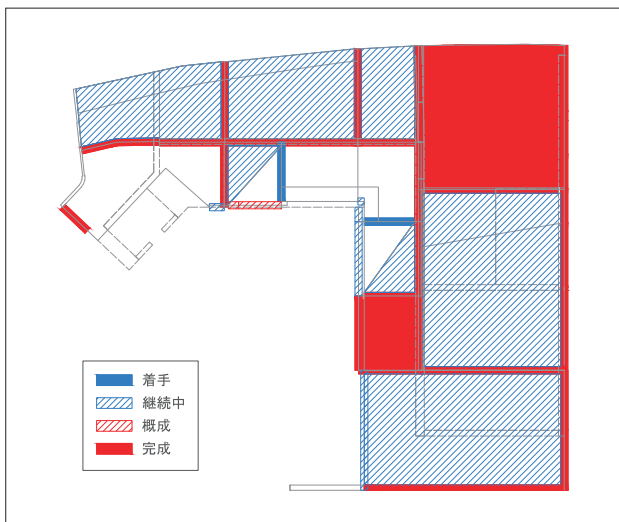
平成 10 (1998) 年の施工位置図と航空写真



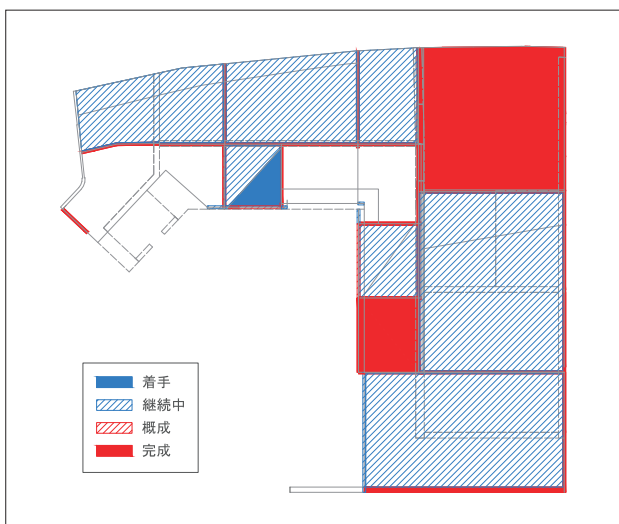
平成 11 (1999) 年の施工位置図と航空写真



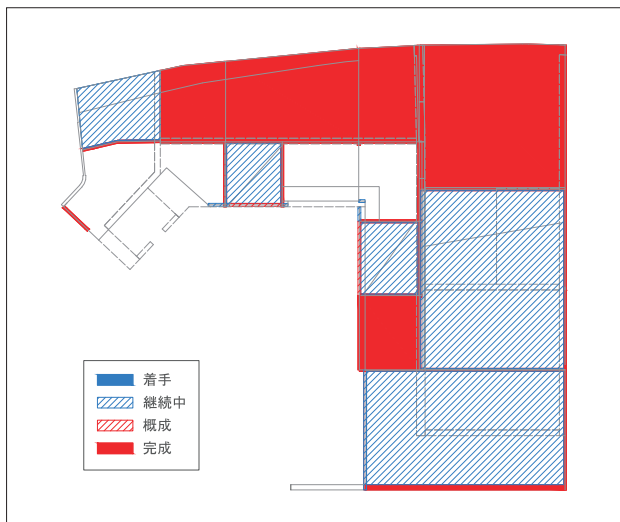
平成 12 (2000) 年の施工位置図と航空写真



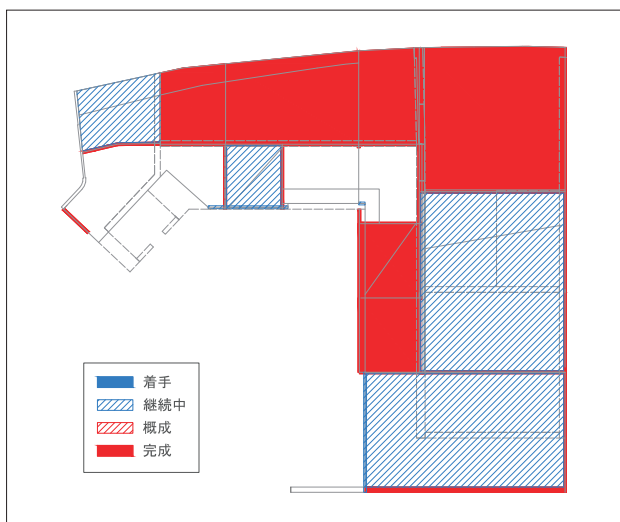
平成 13 (2001) 年の施工位置図と航空写真



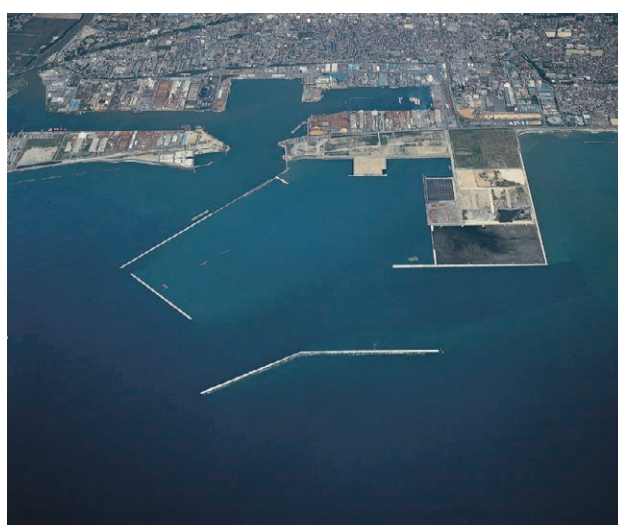
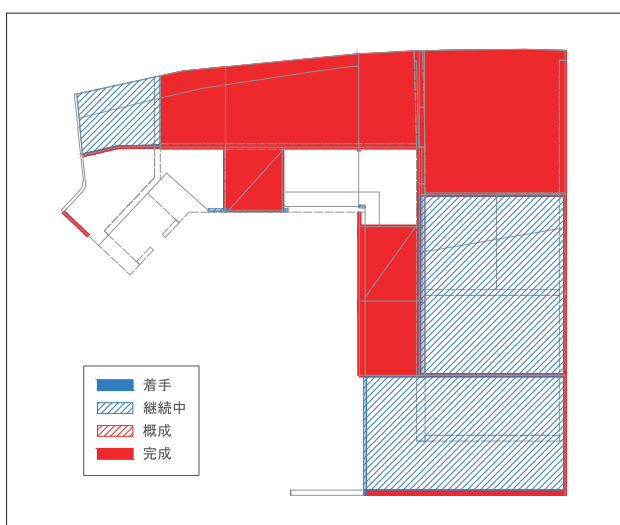
平成 14 (2002) 年の施工位置図と航空写真



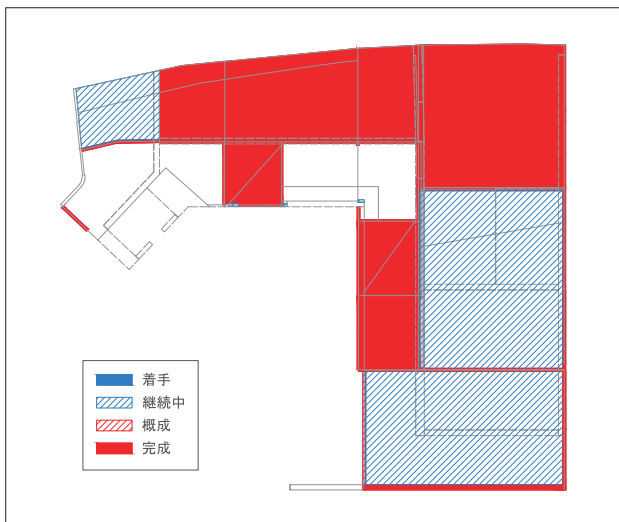
平成15(2003)年の施工位置図と航空写真



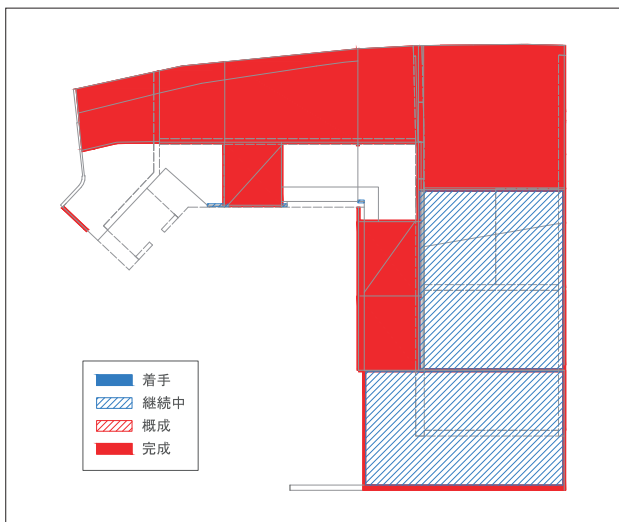
平成16(2004)年の施工位置図と航空写真



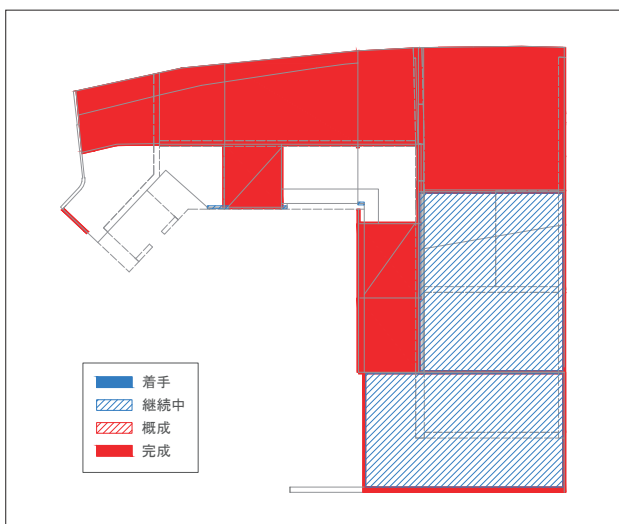
平成17(2005)年の施工位置図と航空写真



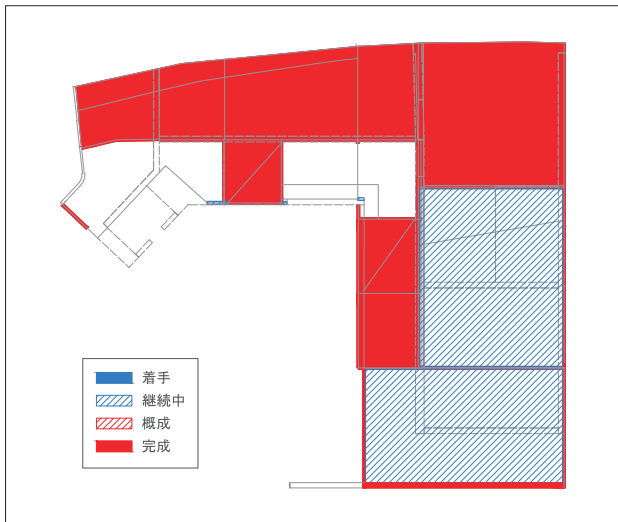
平成 18 (2006) 年の施工位置図と航空写真



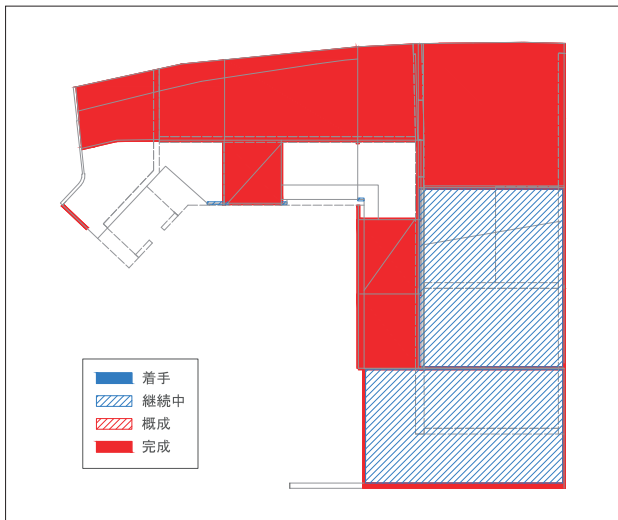
平成 19 (2007) 年の施工位置図と航空写真



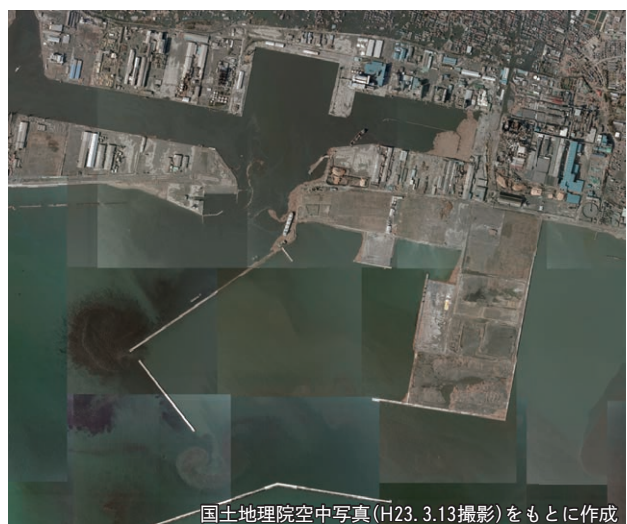
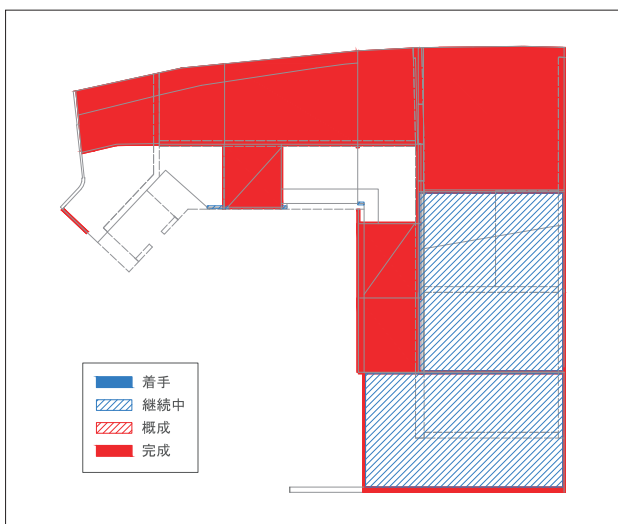
平成 20 (2008) 年の施工位置図と航空写真



平成 21 (2009) 年の施工位置図と航空写真

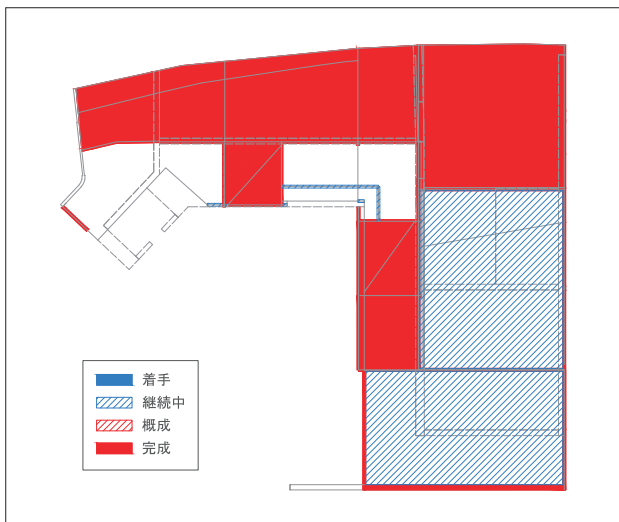


平成 22 (2010) 年の施工位置図

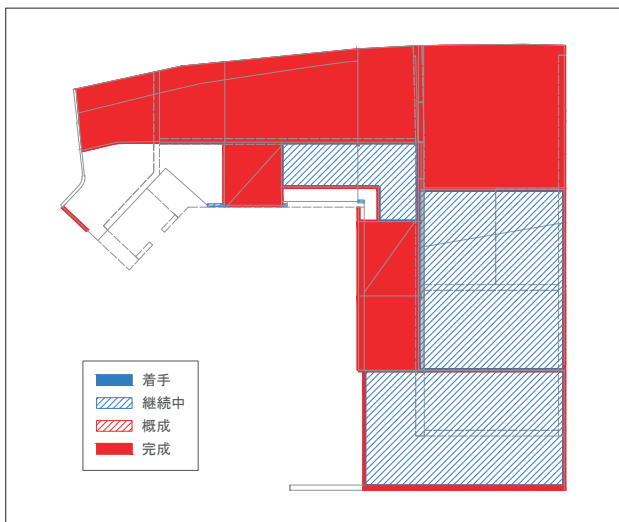


国土地理院空中写真(H23. 3.13撮影)をもとに作成

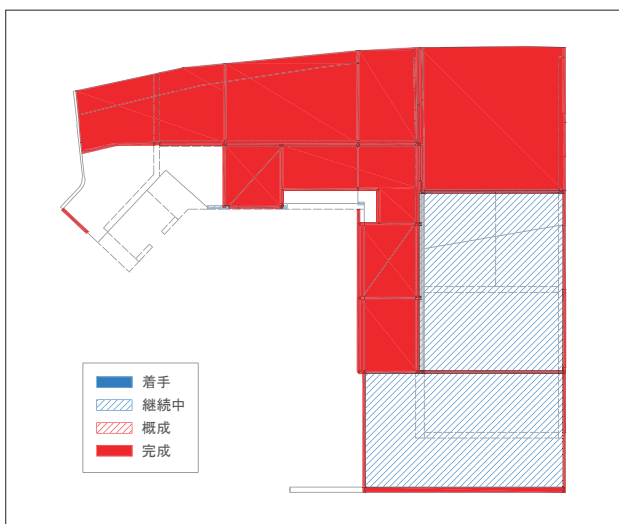
平成 23 (2011) 年の施工位置図と航空写真



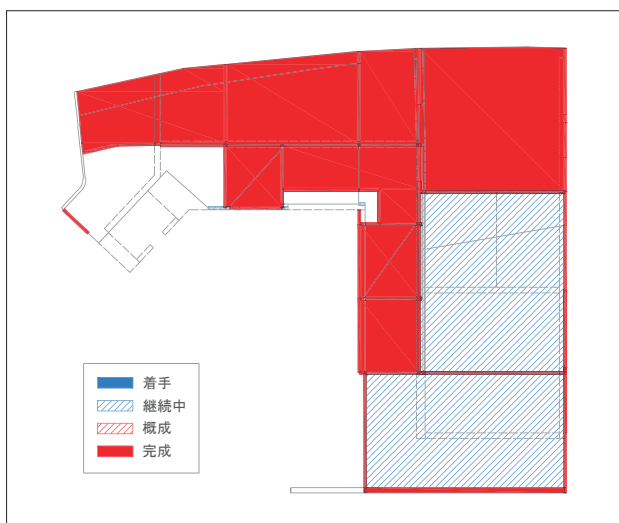
平成 24 (2012) 年の施工位置図と航空写真



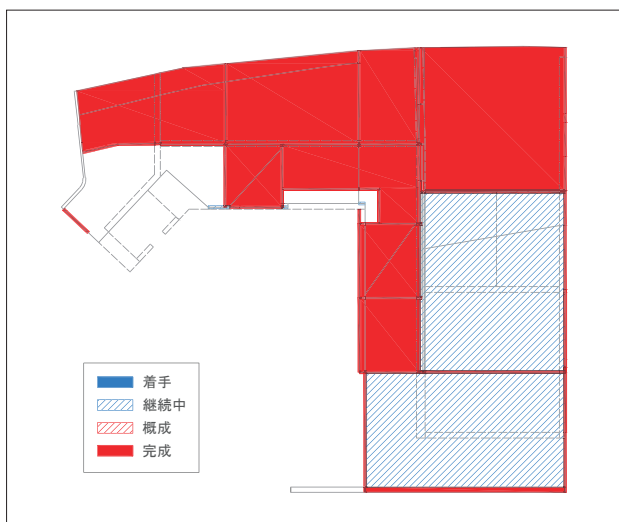
平成 25 (2013) 年の施工位置図と航空写真



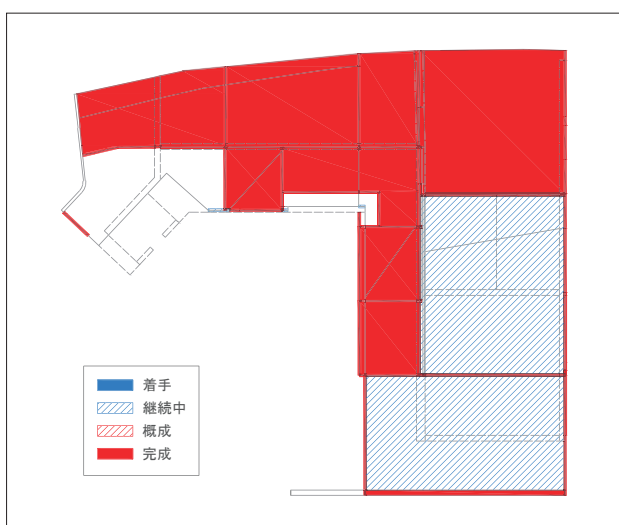
平成 26 (2014) 年の施工位置図と航空写真



平成27(2015)年の施工位置図と航空写真



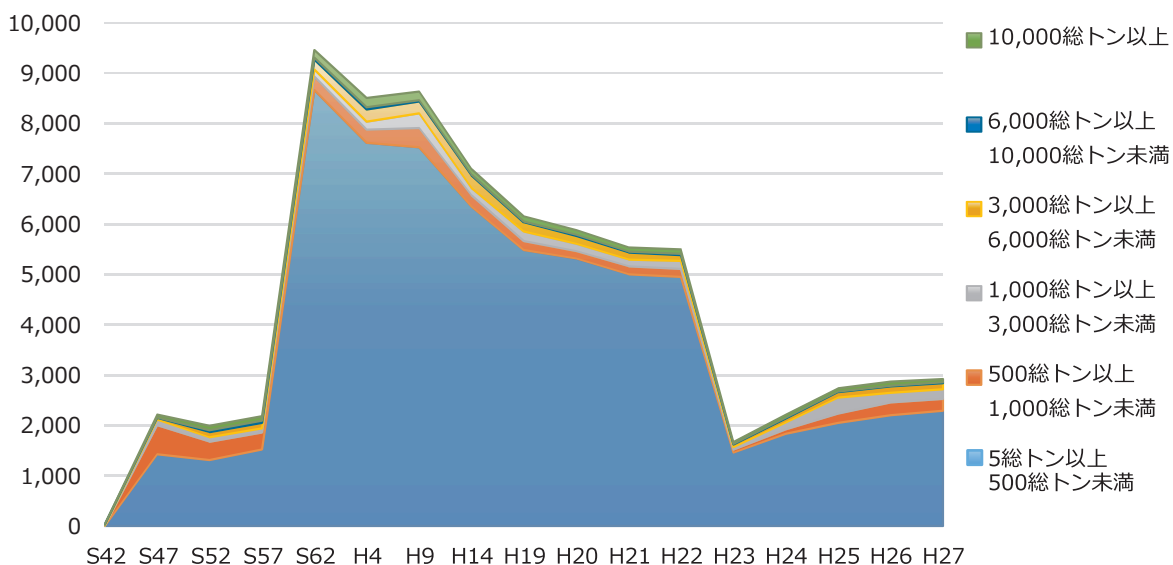
平成28(2016)年の施工位置図と航空写真



平成29(2017)年の施工位置図と航空写真

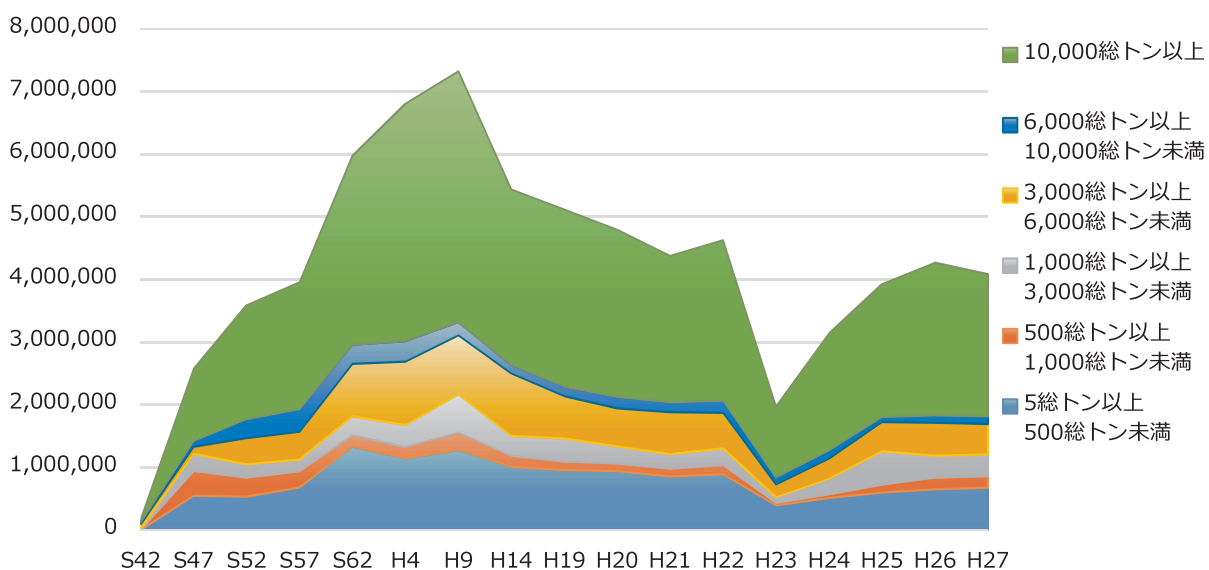
資料 3 港湾統計

入港隻数と総トン数の推移



※昭和42~57年の「100総トン未満」のデータは「5総トン以上500総トン未満」の項目にて表示

石巻港入港船舶（隻数）



※昭和42~57年の「100総トン未満」のデータは「5総トン以上500総トン未満」の項目にて表示

石巻港入港船舶（総トン数）

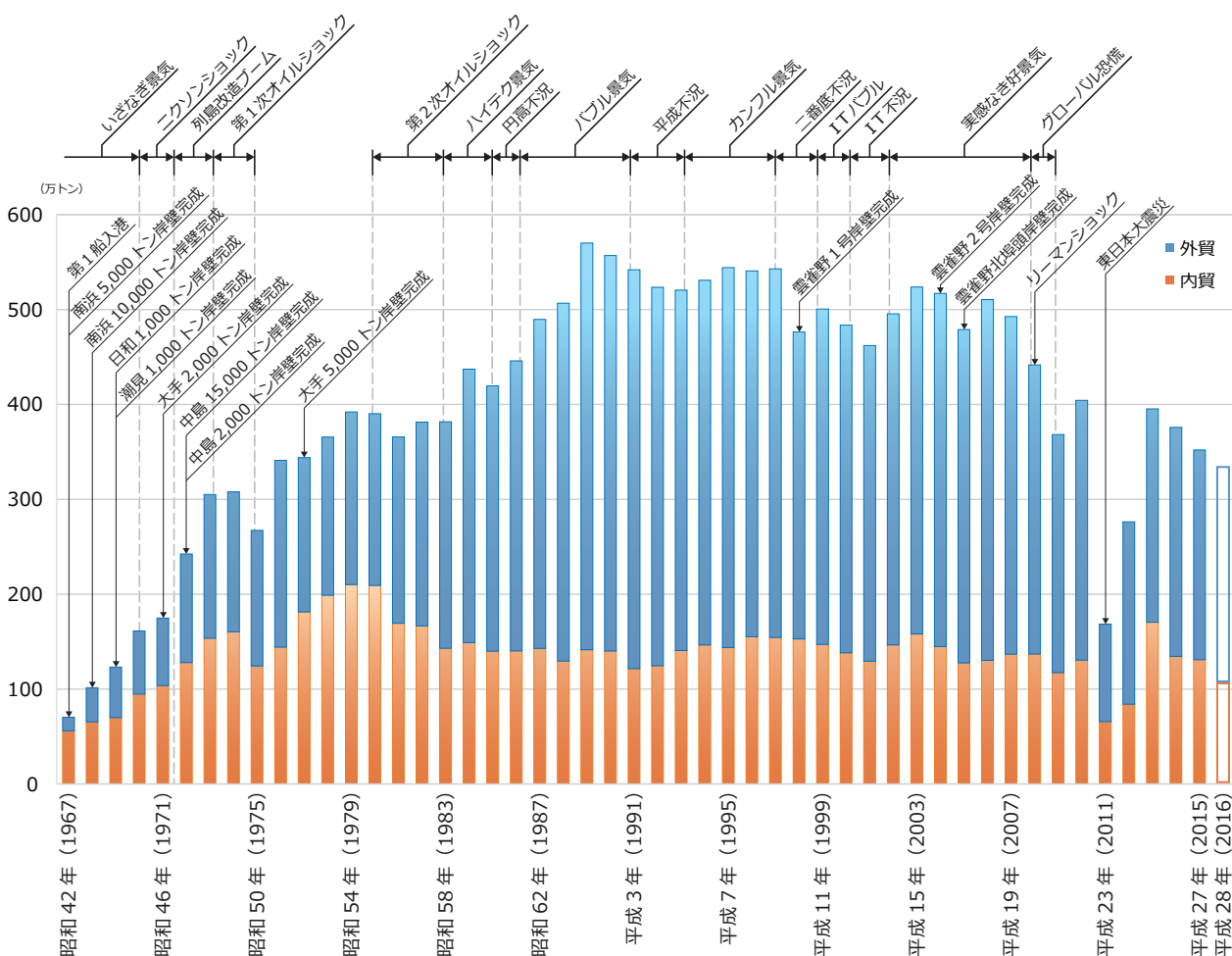
取扱貨物量の推移

石巻港における海上出入貨物の変遷は以下のグラフのとおり。

昭和の中頃から終わりに向け、取扱量が一気に増加していることから、当時の石巻港の勢いがうかがえる。その後は概ね横ばいからわずかに減少傾向がみられ、東日本大震災により一気に減少している。その後東日本大震災により減少した貨物量は、グラフからは戻りきっていないことがわかる。

石巻港は港湾背後臨海部にある「紙・パルプ関連」、「木材・合板関連」、「飼料関連」などの集積している主要産業の情勢と直結する傾向が強い。「東北地方ものづくりの拠点港」「石巻工業港」ともされるのはこれら産業の原材料の輸入拠点であるためであり、グラフからも「輸移入」の取扱いが多くを占めることから理解できる。

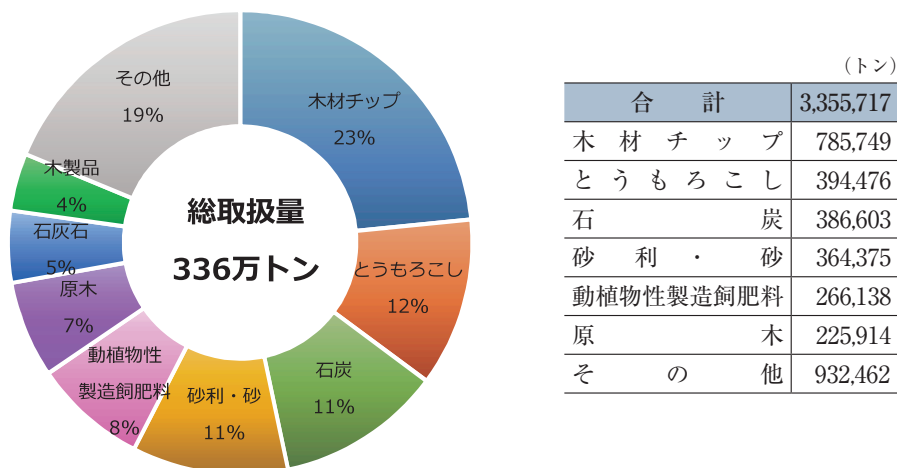
石巻港の主要取扱貨物は「木材チップ」「とうもろこし」「石炭」「砂利・砂」「動植物性製造飼料」「原木」「金属くず」「石灰石」などである。砂利・砂は東日本大震災後に復興に必要な資材として取扱いが増えたものである。



外貨内貨別取扱貨物量(昭和42(1967)年～平成28(2016)年)

	取扱貨物量 (単位: 万トン)				取扱貨物量 (単位: 万トン)		
		外貿	内貿			外貿	内貿
昭和42年(1967)	70	14	56	平成4年(1992)	524	399	125
昭和43年(1968)	101	36	65	平成5年(1993)	521	380	141
昭和44年(1969)	123	53	70	平成6年(1994)	531	384	146
昭和45年(1970)	161	67	95	平成7年(1995)	544	400	144
昭和46年(1971)	175	71	104	平成8年(1996)	541	386	155
昭和47年(1972)	242	114	128	平成9年(1997)	543	389	154
昭和48年(1973)	305	152	154	平成10年(1998)	476	323	153
昭和49年(1974)	308	148	160	平成11年(1999)	501	354	147
昭和50年(1975)	267	143	124	平成12年(2000)	484	345	138
昭和51年(1976)	341	197	144	平成13年(2001)	462	333	129
昭和52年(1977)	344	163	181	平成14年(2002)	495	349	147
昭和53年(1978)	366	167	199	平成15年(2003)	524	366	158
昭和54年(1979)	392	182	210	平成16年(2004)	517	372	145
昭和55年(1980)	390	181	209	平成17年(2005)	479	351	128
昭和56年(1981)	366	196	169	平成18年(2006)	511	380	130
昭和57年(1982)	381	215	167	平成19年(2007)	493	356	137
昭和58年(1983)	382	239	143	平成20年(2008)	442	305	137
昭和59年(1984)	437	288	149	平成21年(2009)	368	251	117
昭和60年(1985)	420	280	140	平成22年(2010)	404	274	131
昭和61年(1986)	446	306	140	平成23年(2011)	169	103	66
昭和62年(1987)	490	347	143	平成24年(2012)	276	192	84
昭和63年(1988)	507	377	130	平成25年(2013)	395	225	170
平成元年(1989)	570	429	141	平成26年(2014)	376	241	135
平成2年(1990)	557	417	140	平成27年(2015)	352	221	131
平成3年(1991)	542	420	122	平成28年(2016)	335	226	109

なお、平成28(2016)年における貨物量は総取扱量では336万トンであり、やはり木材チップ、石炭、原木、穀物など大型バルク貨物が多い。貨物の割合は以下のとおり。

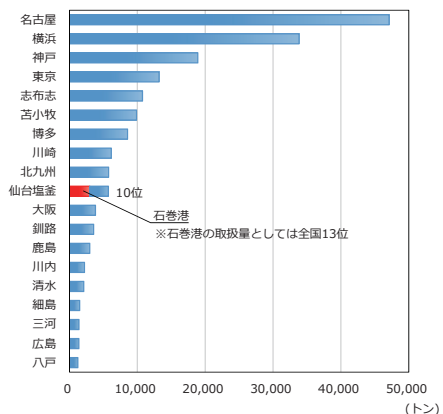


平成28(2016)年石巻港区主要取扱貨物

主要貨物の全国ランキング(平成27(2015)年)

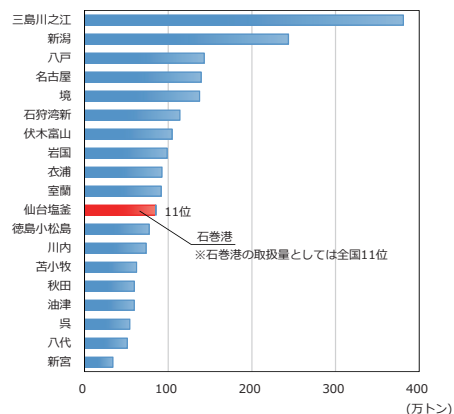
◆ 外貨貨物

動植物性製造飼肥料 (輸出)



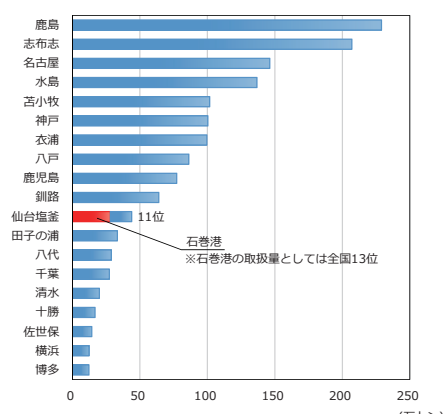
港湾別動植物性製造飼肥料輸出量

木材チップ (輸入)



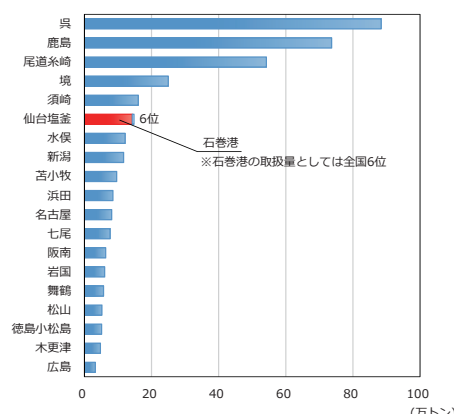
港湾別木材チップ輸入量

とうもろこし (輸入)



港湾別とうもろこし輸入量

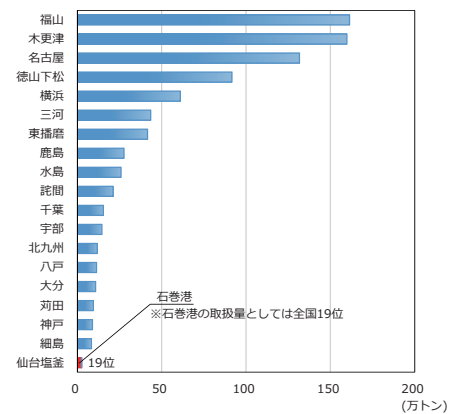
原木 (輸入)



港湾別原木輸入量

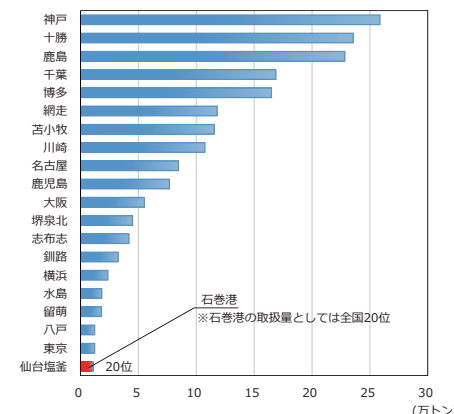
◆ 内貨貨物

鉄鋼 (移出)



港湾別鉄鋼移出量

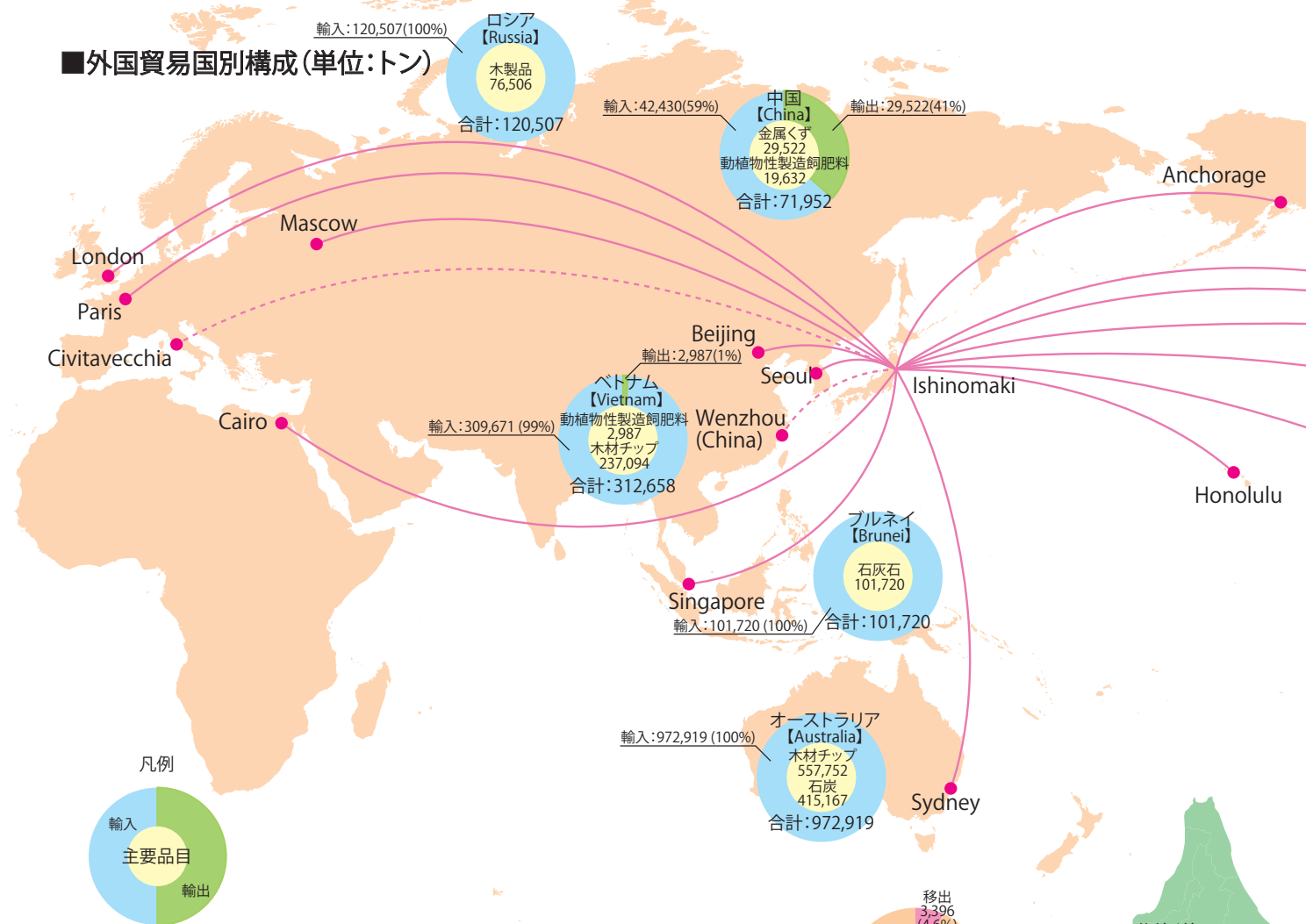
麦 (移出)



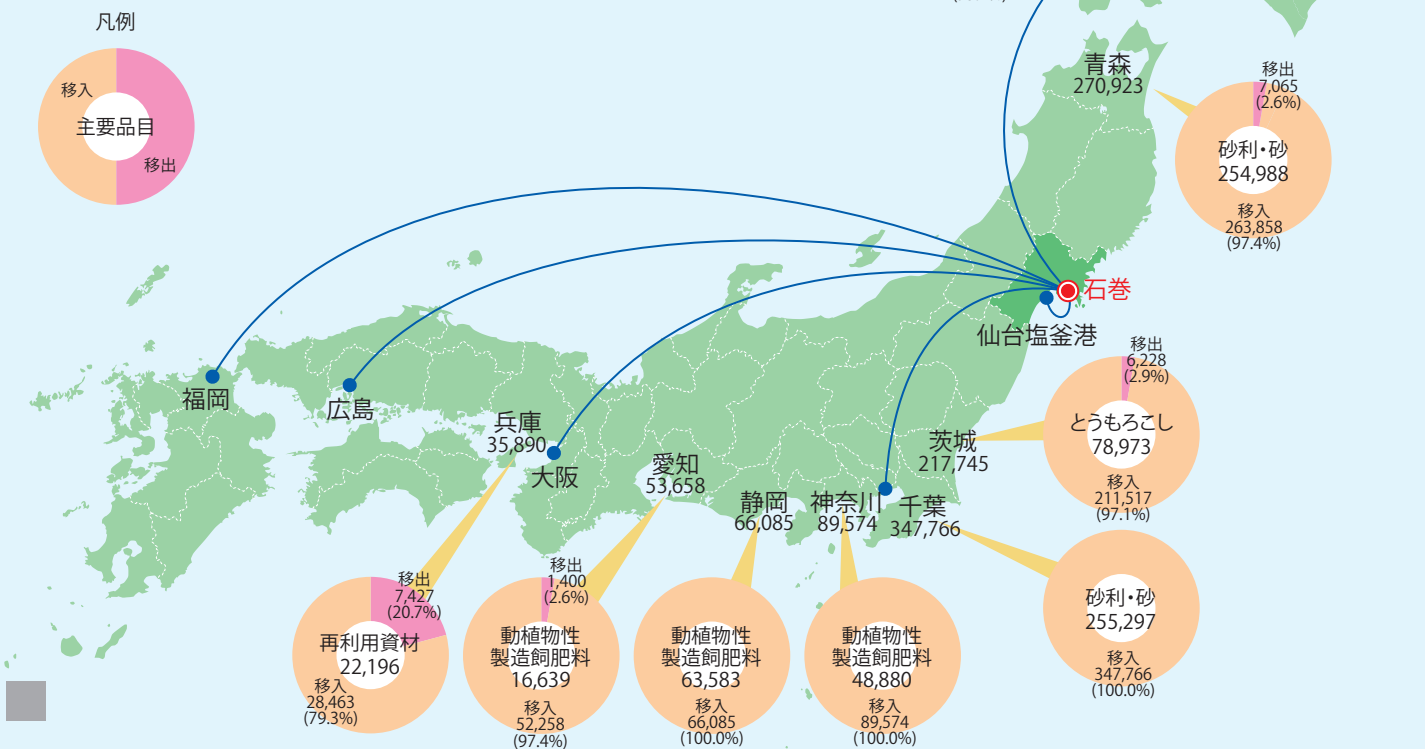
港湾別麦移出量

石巻港と主要貿易港

■外国貿易国別構成(単位:トン)

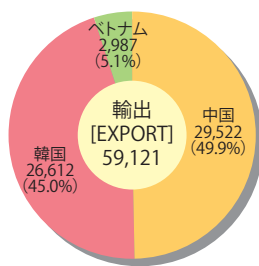


■内国貿易県別構成(単位:トン)

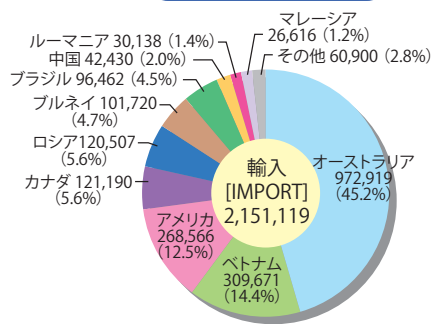




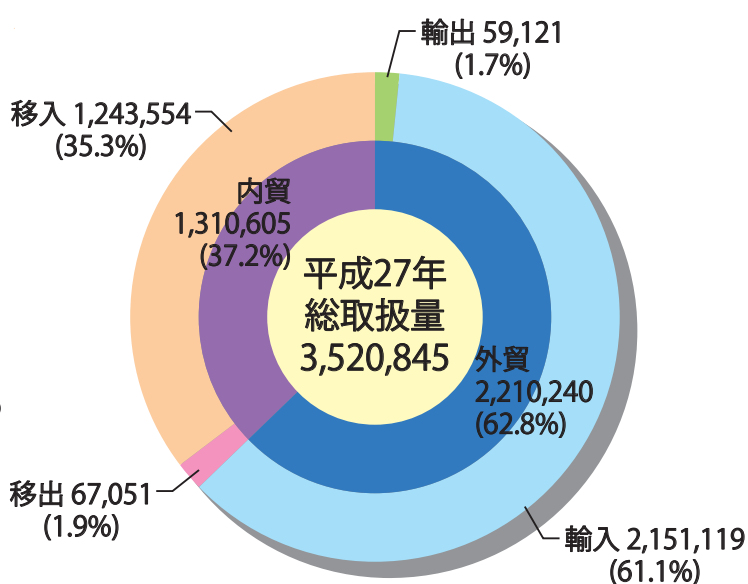
主要輸出国



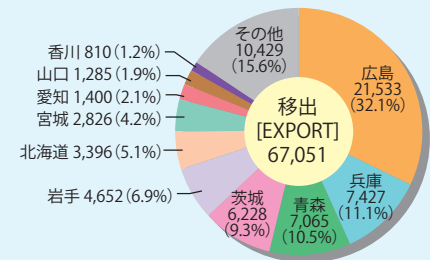
主要輸入国



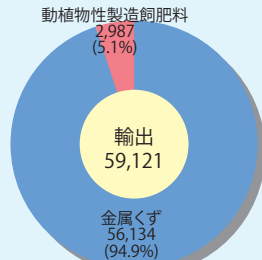
総取扱貨物量



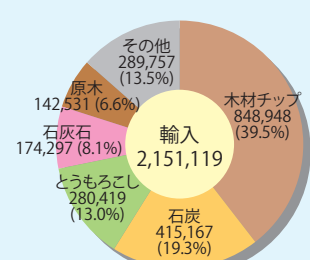
主要移出都道府県



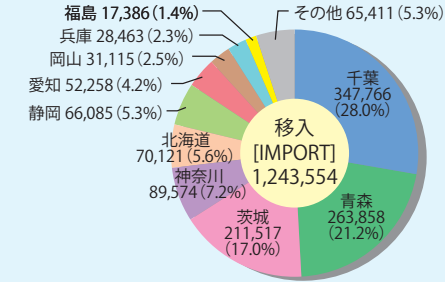
輸出



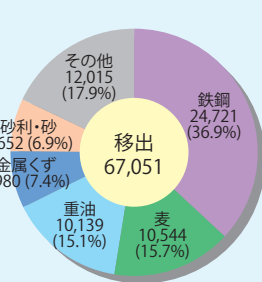
輸入



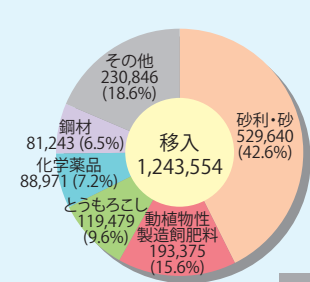
主要移入都道府県



移出



移入



資料

4

石巻港整備・利用促進期成同盟会名簿

(平成30年(2018)1月1日現在、敬称略、順不同)

■ 顧問

職名	氏名
衆議院議員	土井亨
衆議院議員	秋葉賢也
衆議院議員	西村明宏
衆議院議員	伊藤信太郎
衆議院議員	安住淳
衆議院議員	小野寺五典
衆議院議員	井上義久
衆議院議員	勝沼栄明
衆議院議員	真山祐一
参議院議員	愛知治郎
参議院議員	櫻井充
参議院議員	和田政宗
参議院議員	高階恵美子
参議院議員	中野正志
宮城県知事	村井嘉浩
宮城県議会議長	中島源陽
宮城県議会議員	本木忠一
宮城県議会議員	齋藤正美
宮城県議会議員	佐々木喜藏
宮城県議会議員	三浦一敏
宮城県議会議員	坂下賢
宮城県議会議員	高橋宗也
石巻専修大学学長	尾池守
一般社団法人 東北経済連合会 会長	海輪誠
株式会社 日本政策投資銀行東北支店 支店長	佐野成信

■ 参与

職名	氏名
国土交通省東北運輸局 石巻海事事務所 所長	千代谷昇
石巻海上保安署 署長	横江正則
横浜税関仙台塩釜税関支署 石巻出張所 所長	長澤覚
宮城県土木部長	櫻井雅之

■ 会員

所属団体	役職名	氏名	所属団体	役職名	氏名
石巻市	市長	亀山紘	石巻地区生コンクリート協同組合	理事長	今野正弘
石巻市議会	議長	丹野清	日本通運株式会社 仙北支店	支店長	武田弘成
東松島市	市長	渥美巖	南光運輸株式会社	代表取締役社長	内田耕一郎
東松島市議会	議長	阿部勝徳	カイリク株式会社	代表取締役社長	秋葉博
女川町	町長	須田善明	有限会社ヒラツカ	代表取締役	平塚和明
女川町議会	議長	木村公雄	石巻合板工業株式会社	代表取締役社長	野田四郎
石巻市議会	副議長	大森秀一	天龍木材株式会社石巻支店	支店長	渥美一男
石巻市議会	総務企画委員会委員長	木村忠良	石巻倉庫株式会社	代表取締役社長	安達瑞雄
石巻市議会	環境教育委員会委員長	櫻田誠子	株式会社ヤマニシ	取締役社長	長倉清明
石巻市議会	産業建設委員会委員長	千田直人	株式会社七星社	代表取締役	刈谷芳博
石巻市議会	保健福祉委員会委員長	阿部正春	JA全農北日本くみあい飼料株式会社 石巻工場	工場長	桂島達也
石巻市議会	産業建設委員会副委員長	遠藤宏昭	東海カーボン株式会社 石巻工場	工場長	三浦光治
石巻商工会議所	会頭	浅野亨	宮城県開発株式会社	代表取締役社長	伊藤和彦
石巻港企業連絡協議会	会長	音羽徹	石巻埠頭サイロ株式会社	代表取締役社長	豊田昌史
石巻広域圏商工会議所 商工会連絡協議会	会長	浅野亨	一般社団法人石巻植物検疫協会	会長	豊田昌史
公益社団法人 宮城県トラック協会 石巻支部	支部長	齋藤匡	株式会社山田	代表取締役会長	高橋貞夫
石巻金融団	幹事長	小野寺芳一	尼崎製缶株式会社 石巻工場	工場長	尾形清人
東北電力株式会社 石巻営業所	所長	日下部昭紀	株式会社イメリス ミネラルズ・ジャパン	代表取締役社長	中村徹
一般社団法人 石巻青年会議所	理事長	宇都宮光博	清水港飼料株式会社 石巻工場	工場長	白井正明
宮城県建設業協会 石巻支部	支部長	若生保彦	木村木材株式会社 石巻工場	代表取締役社長	青木伸夫
日本製紙株式会社 石巻工場	常務執行役員工場長	音羽徹	セイホク株式会社 石巻工場	専務取締役	相澤秀郎
石巻港清港会	会長	豊田昌史	株式会社伊藤製鐵所 石巻工場	工場長	吉村邦彦

■ 役員

役名	所属団体	役職名	氏名
会長	石巻市	市長	亀山紘
副会長	石巻商工会議所	会頭	浅野亨
副会長	石巻港企業連絡協議会	会長	音羽徹
副会長	東松島市	市長	渥美巖
理事	石巻市議会	議長	丹野清
理事	石巻広域圏商工会議所 商工会連絡協議会	監事	橋本孝一
理事	日本製紙株式会社 石巻工場	常務執行役員工場長	音羽徹
理事	カイリク株式会社	代表取締役社長	秋葉博
理事	南光運輸株式会社	代表取締役社長	内田耕一郎
理事	日本通運株式会社 仙北支店	支店長	武田弘成
理事	宮城県建設業協会 石巻支部	支部長	若生保彦
理事	石巻埠頭サイロ株式会社	代表取締役社長	豊田昌史
理事	石巻市議会	産業建設委員会委員長	千田直人
監事	石巻金融団	幹事長	小野寺芳一
監事	石巻市議会	産業建設委員会副委員長	遠藤宏昭

■ 幹事

役名	所属団体	役職名	氏名
幹事長	石巻商工会議所	専務理事	高橋武徳
副幹事長	石巻港企業連絡協議会	専務理事	根本信夫
副幹事長	石巻市	建設部長	木村芳夫
幹事	日本製紙株式会社 石巻工場	事務部長	上野満男
幹事	株式会社山田	取締役副会長	高橋勝
幹事	日本通運株式会社 仙北支店	営業センター所長	朝倉和紀
幹事	南光運輸株式会社	港運部長	杉山育男
幹事	カイリク株式会社	石巻本店作業部長	大石達也
幹事	株式会社七星社	専務取締役	松本治久
幹事	石巻埠頭サイロ株式会社	取締役	齋藤友宏
幹事	石巻商工会議所	工業部会長	若生保彦
幹事	宮城県石巻港湾事務所	所長	後藤孝二
幹事	石巻市	産業部長	齋藤一夫

資料

5

石巻港企業連絡協議会

「平成29年10月1日現行」

木材部門			電話番号	FAX番号
1	日本製紙株式会社 石巻工場	〒986-8555	石巻市南光町二丁目2番1号	0225-95-0111 0225-93-6060
2	石巻合板工業株式会社	〒986-0842	石巻市潮見町3番地3	0225-96-3111 0225-96-3116
3	セイホク株式会社 石巻工場	〒986-0844	石巻市重吉町1番地7	0225-22-6513 0225-95-5890
4	株式会社山大	〒986-0842	石巻市潮見町2番地の3	0225-93-1111 0225-93-1118
5	木村木材株式会社 石巻工場	〒986-0842	石巻市潮見町3-1	0225-93-5155 0225-93-5159
6	日本製紙木材株式会社 東北支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町二丁目7-17 朝日生命仙台一番町ビル4階	022-213-0635 022-213-0639
飼肥料食品部門			電話番号	FAX番号
1	JA全農北日本くみあい飼料株式会社 石巻工場	〒986-0846	石巻市三河町4番地	0225-22-9176 0225-93-8359
2	石巻埠頭サイロ株式会社	〒986-0846	石巻市三河町3番地	0225-22-6383 0225-93-9060
3	清水港飼料株式会社 石巻工場	〒986-0846	石巻市三河町11番地	0225-22-9265 0225-93-9159
4	株式会社オールインワン 東北支店	〒986-0846	石巻市三河町15番地	0225-93-0811 0225-93-8086
5	みらい飼料株式会社 石巻工場	〒986-0846	石巻市三河町13番地	0225-95-1921 0225-95-1925
6	石巻飼料株式会社	〒986-0846	石巻市三河町10番地	0225-96-4161 0225-96-8117
7	フィードワン株式会社 石巻工場	〒986-0846	石巻市三河町9番地	0225-95-1313 0225-94-0187
8	全国農業協同組合連合会宮城県本部	〒980-0011	仙台市青葉区上杉一丁目2番16号	022-264-8365 022-261-7481
9	三昭株式会社 石巻支店	〒986-0846	石巻市三河町5番地	0225-96-6128 0225-96-6129
10	日清物流株式会社	〒986-0846	石巻市三河町14番地	0225-93-1501 0225-93-5862
11	東北東ソー化学株式会社	〒998-0064	山形県酒田市大浜一丁目4番16号	0234-33-6111 0234-33-1791
12	株式会社中村商会 石巻営業所	〒986-0859	石巻市大街道西一丁目3番1号	0225-93-8663 0225-93-6483
金属鉄鋼部門			電話番号	FAX番号
1	尼崎製鐵株式会社 石巻工場	〒986-0844	石巻市重吉町5-1	0225-95-7161 0225-95-7107
2	株式会社伊藤製鐵所 石巻工場	〒986-0844	石巻市重吉町2番地	0225-96-1111 0225-96-0256
3	株式会社ヤマニシ	〒986-0843	石巻市西浜町1番地2	0225-82-5551 0225-83-2713
4	東海カーボン株式会社 石巻工場	〒986-0844	石巻市重吉町3番10	0225-93-3611 0225-94-2239
5	株式会社エステー	〒986-0846	石巻市三河町7番地の2	0225-22-4181 0225-95-9631
6	株式会社齋武商店	〒986-0846	石巻市三河町7番4号	0225-93-5111 0225-93-9988
7	株式会社石巻金剛コルメット工場	〒986-0846	石巻市三河町7-5	0225-22-5407 0225-96-6849
運輸倉庫部門			電話番号	FAX番号
1	南光運輸株式会社	〒986-0874	石巻市双葉町10番29号	0225-95-4161 0225-22-1214
2	カイロク株式会社	〒986-0845	石巻市中島町17番地	0225-95-5311 0225-96-7324
3	日本通運株式会社 仙北支店	〒986-0845	石巻市中島町17番5	0225-95-2111 0225-96-3724
4	津田海運株式会社	〒986-0860	石巻市のぞみ野一丁目1-2	0225-23-0181 0225-95-5821
5	宮城マリンサービス株式会社	〒985-0011	塩釜市真山通一丁目8-35	022-364-2301 022-365-1532
6	宮城県開発株式会社	〒986-0842	石巻市潮見町13番地の1	0225-22-6234 0225-94-3749
7	仙台湾興業株式会社	〒986-0846	石巻市三河町17番地4	0225-93-6311 0225-93-6313
8	石巻倉庫株式会社	〒986-0846	石巻市三河町8番地	0225-96-3544 0225-94-2802
9	株式会社南光物流サポート	〒986-0874	石巻市双葉町10-29	0225-94-3973 0225-22-1214
関連部門			電話番号	FAX番号
1	株式会社七星社	〒986-0846	石巻市三河町8番地	0225-22-3101 0225-22-3106
2	石巻パッケージ株式会社	〒986-0846	石巻市三河町8番地	0225-96-5811 0225-22-6980
3	東北電力株式会社 石巻営業所	〒986-0875	石巻市末広町3番1号	0225-95-6453 0225-94-4885
4	仙台湾水先区水先人会	〒985-0011	塩釜市真山通一丁目8番35号	022-781-7246 022-362-5519
5	一般社団法人石巻植物検疫協会	〒986-0859	石巻市大街道西一丁目2番21号	0225-94-2215 0225-94-2445
6	仙台湾燻蒸株式会社	〒985-0016	塩釜市港町二丁目3番9号	022-366-3581 022-366-3583
7	石巻港清港会	〒986-0859	石巻市大街道西一丁目2番21号	0225-94-2215 0225-94-2445
8	一般社団法人全日検東北支部石巻現業所	〒986-0855	石巻市大街道東二丁目10番地30号	0225-23-1713 0225-95-4906
9	一般社団法人日本貨物検数協会東北事務所	〒983-0001	仙台市宮城野区港四丁目12-12	022-259-5715 022-259-2320
10	一般社団法人日本貨物検数協会石巻現業所	〒986-0856	石巻市大街道南一丁目7-34	0225-95-0310 0225-94-4461
11	カミタルク株式会社 石巻港工場	〒986-0846	石巻市三河町7-1	0225-96-6145 0225-96-6147
12	大信産業株式会社	〒986-0844	石巻市重吉町8-4	0225-96-6751 0225-96-6752
13	海陸サービス株式会社	〒986-0844	石巻市重吉町13番地1	0225-95-8551 0225-94-8248
14	株式会社イメリス ミネラルズ・ジャパン	〒986-0844	石巻市重吉町5番地2	0225-93-3376 0225-93-3483
15	若築建設株式会社 石巻営業所	〒986-0858	石巻市三ツ股二丁目6番60号	0225-23-1141 0225-23-1142
16	東亜建設工業株式会社 仙台・塩釜港工事事務所	〒985-0842	多賀城市桜木1-4-62	022-290-6572 022-290-6173
17	昭和瀝青工業株式会社 東北営業所	〒986-0844	石巻市重吉町5-2	0225-92-7881 0225-92-7882
18	株式会社櫻工房	〒986-0861	石巻市蛇田字新下沼9番6	0225-98-6048 0225-98-6049
19	前田道路株式会社 石巻製品販売所	〒986-0844	石巻市重吉町5-1	0225-25-6681 0225-25-6682

資料

6

石巻港臨港地区立地企業の現状

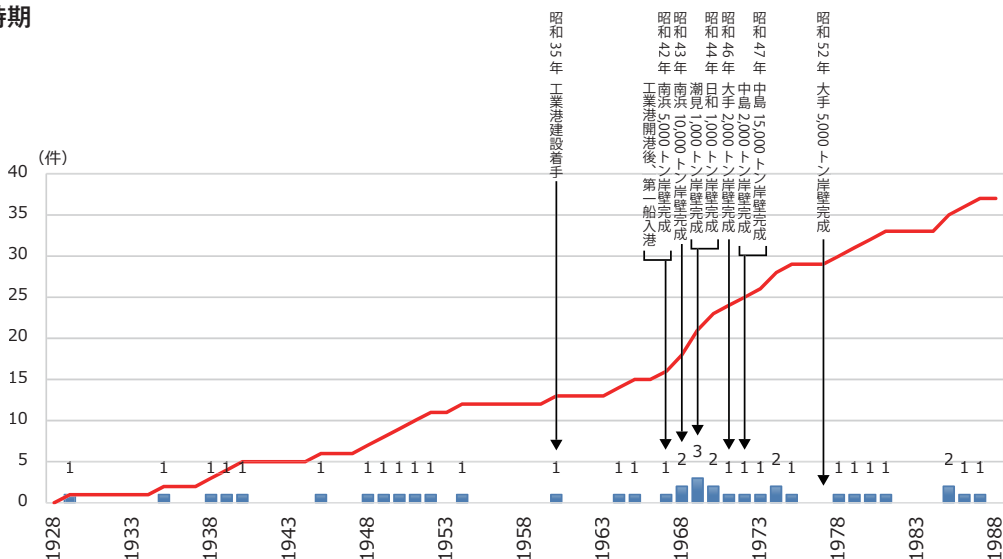
石巻港臨港地区立地企業アンケート調査

石巻港臨港地区に立地する事業所を対象に石巻港の利用に係るアンケート調査を行った。アンケートの内容は事業所概要（業務、従業員数、事業開始時期）や貨物の輸送手段、石巻港利用に関する質問である。

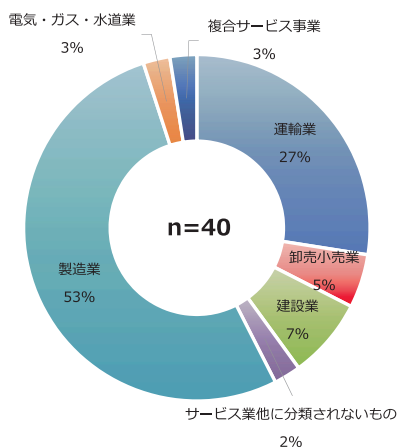
配布企業57社（アンケート回収数40）

◆ 立地企業の石巻港臨港地区内事業開始時期と企業の業種

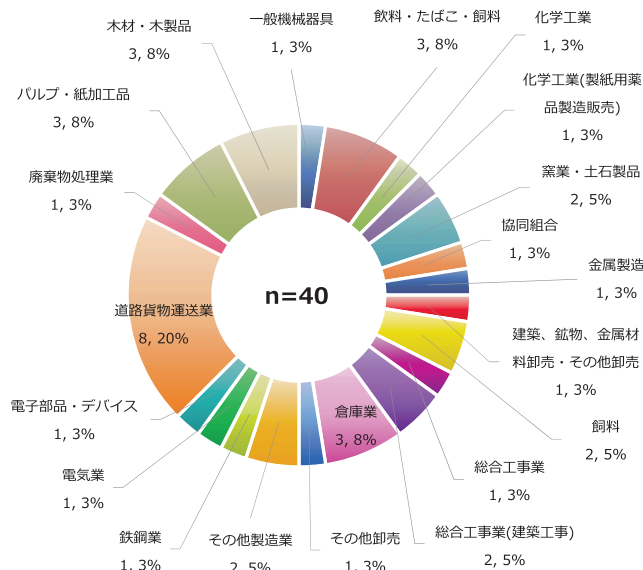
事業開始時期

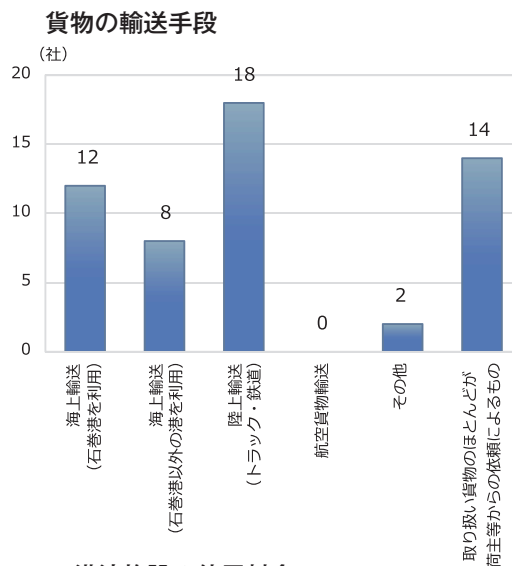
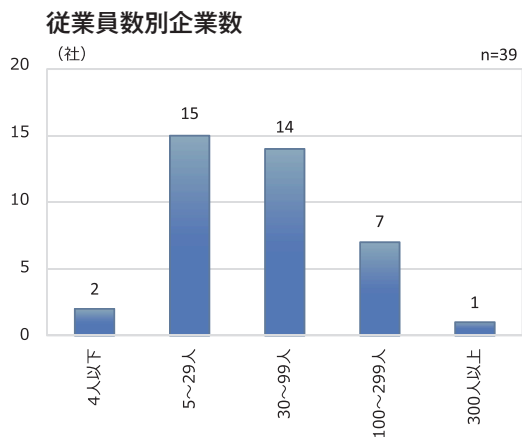


大分類業種別企業割合

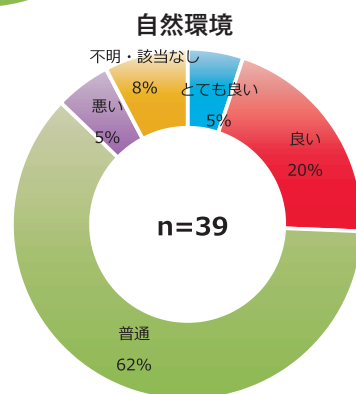
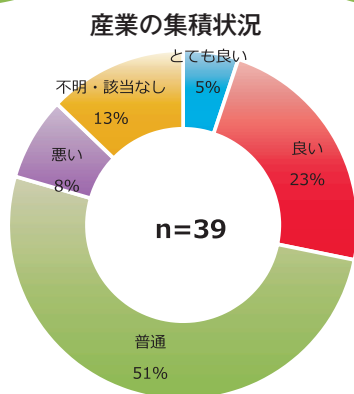
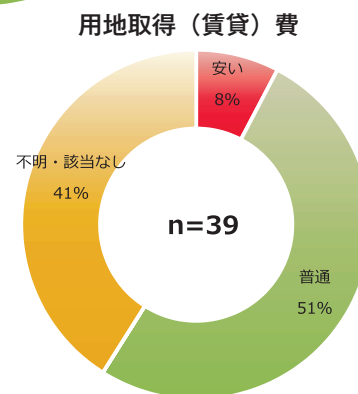
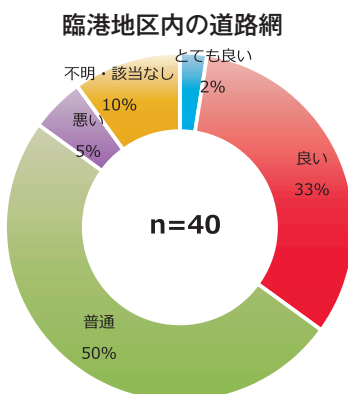
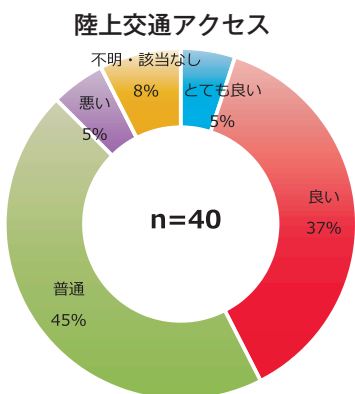
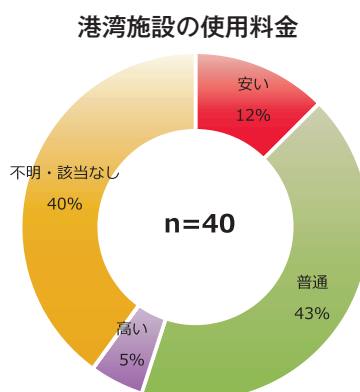
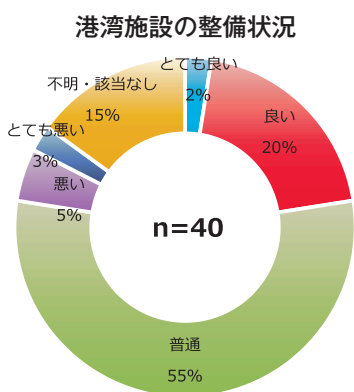


小分類業種企業割合





◆ 石巻港利用に関する調査



資料

7 港湾感謝祭

開催趣旨とこれまでの取組概要

石巻港が地域経済に果たしている役割をPRすると同時にまちづくりの視点から港湾の重要性を再認識していただくため、平成14(2002)年から毎年港湾感謝祭を実施し、多くの市民の方々に御参加いただいている。毎年、珍しい船舶の寄港があり、これまでに帆船「海王丸」や南極観測船「しらせ」、地球深部探査船「ちきゅう」が寄港し、船内一般公開を行ってきた。

右上)：帆船「海王丸」H26.10.18撮影
 右下)：南極観測船「しらせ」H25.8.30撮影
 左)：地球深部探査船「ちきゅう」H28.8.19撮影



岸壁には官公庁や港湾関係企業によるPRコーナーが設置され、さらには港の役割を楽しく学べるような造波模型、ロボットアームなどの体験型のコーナーや地元企業の展示コーナーもあり、各種物品の販売も行われている。



港湾感謝祭の様子



港湾感謝祭ポスター